# 第2分

# 旭地区まちづてり計画

2021-2030

つながる、楽しむ、普通が素敵。 だもんで、旭。





# ごあいさつ

2011年度に旭地区まちづくり計画が策定され、計画期間である 10年が経過しました。基本理念「美しい山河と地域の絆 結いの心が通い合う 水の郷 旭」を旗幟に、豊かな自然と人情味あふれる恵まれた環境を生かし、もっと住みよいまちにしようという気概に満ちた

人々の営みが定着した10年間でありました。

この間、地域の皆さんの取組の成果として、77 組 187 人が移住し、新しい風を運んでくれています。また、わくわく事業補助金を活用して、延べ 112 団体が特色溢れるまちづくりに取り組み、地域に活気を生み出してきました。一方で、人口は 3,192 人から 2,600 人に、高齢化率は 39.1%から 45.5%に、それぞれ変化しました。商店の廃業や小学校の廃校など、避けられない道も辿ってきました。

旭地域会議は、第2次旭地区まちづくり計画を策定するにあたり、地域の現状と皆様の意識を正確に把握することが必要であると考え、旭地区に住む中学生以上全員を対象にアンケートを実施しました。詳細な結果は巻末に掲げてありますが、その中で最も満足度の高かった項目は「困ったときに助け合える近所付き合いが行われている」でした。

現在、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、私たちは大きな不安を抱えた生活を強いられています。思い返せば、第1次まちづくり計画がスタートした 2011 年も東日本大震災発生直後であり、日本中が深い悲しみと困難の中にありました。奇しくも、いずれの計画のスタートも、この国難とも言える時期と重なりました。しかし、どんな苦境にあっても変わらないものは、旭地区の人と人との結びつきだということが分かったことは、大きな希望です。このような不透明な時代にこそ、基本理念に掲げた「つながる、楽しむ、普通が素敵。だもんで、旭。」の精神を胸に、周りに家族や友人がいて話し声と笑い声が絶えない、困ったときには誰かに相談できる、そんな普通の暮らしの素敵さに気づき、大切にしていきましょう。

第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディは、就任演説で「国家があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが国家のために何ができるかを問おうではないか」と呼びかけました。本計画は「私たちが旭地区のために何ができるか」を考える際の道しるべです。ご一読の上、家庭で、地域で話題にしていただければ幸いです。

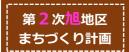
最後に、この計画を策定するにあたりご協力いただきました全ての皆様へ感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2021年3月

旭地域会議会長 古田 秀勝

# 一 目 次 一

旭地区の現況		2
第1次旭地区まちて	<b>づくり計画の総括</b>	4
第2次旭地区まちて	<b>ざくり計画の概要</b>	6
計画の全体像		8
前期5か年計画(2	021~2025)	10
重点取組項目1	「気持ちが通い合う住民参加のまちづくり」	10
取組分野1	移住・定住	11
取組分野 2	子育て、学び・育ち	12
取組分野3	健康づくり	13
重点取組項目2	「安全に安心して暮らし続けられるまちづくり」	14
取組分野1	福祉	15
取組分野2	道路・交通、生活	16
取組分野3	防災、交通安全・防犯	17
重点取組項目3	「美しさと魅力あふれるまちづくり」	18
取組分野1	産業(農林業・商業)	19
取組分野 2	観光・交流	20
取組分野3	まち、歴史・文化	21
〈資 料〉		
旭地区のまちづく ケ	)を考えるアンケート調査 結果報告書	22
計画策定の経緯・・		50
(1) 策定の主な	〕経過	50
(2)策定委員		51



# 旭地区の現況

# 旭地区の人口推移

旭地区では、この5年間で200人以上の人口が減少したものの、空き家情報バンク等の定住施策の推進により、出生数は2桁を維持してきました。しかし、このままの状態で推移した場合の20年後の人口は、約1,700人に減少する見込みです。

#### ■ これまでの人口の推移(各年4月1日現在)

単位:人

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	人口	2,881	2,833	2,765	2,734	2,652	2,600
	世帯数	1,072	1,081	1,076	1,095	1,080	1,075
	人口増減数	△48	△68	△31	△82	△52	
内	自然増減※1	△51	△45	△52	△45	△35	
訳	社会増減※2	3	△23	21	△37	△17	_
	出生数	15	11	10	11	13	
	高齢化率	43.0%	43.1%	44.3%	44.6%	45.0%	45.5%

<sup>※1</sup> 生まれた人の数となくなった人の数の差 ※2 転入した人の数と転出した人の数(市内転居含む)の差

#### ■児童・生徒数の推移(各年4月5日現在)

単位:人

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
小渡小学校	41	40	41	43	44	38
敷島小学校	49	39	34	34	39	48
旭 中 学 校	48	56	53	48	38	44
合 計	138	135	128	125	121	130

#### ■人口将来予測(各年4月1日現在)※コーホート法により算出



#### ■空き家情報バンクの成約状況(各年度末現在、2020年は12月末現在)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
件数	8件	9件	14件	6件	7件	7件
人数	22 人	24 人	35 人	16人	21 人	11人
制度開始以降	34 件	43 件	57 件	63 件	70 件	77 件
累計	80 人	104人	139人	155 人	176 人	187人

#### 地域カルテ※からわかる旭地区の特徴

令和2年度旭地域会議において、「地域カルテ※からわかる旭地区の特徴」についてグループワークを行い、次のような特徴が挙げられました。

- ■小学校児童数 が 3年連続で増加している
- ■地域活動やボランティア活動への参加率 が 上昇している
- ■地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着 が 低下している
- ■概ねすべての年代が 医療や福祉対策の充実を求めている傾向が強い

※地域カルテ…地域の概況や将来推計、まちづくりへの参加状況などを中学校区ごとにまとめたもの 旭地域カルテ(豊田市ホームページ)

http://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/jichiku/1037159/1037158.html

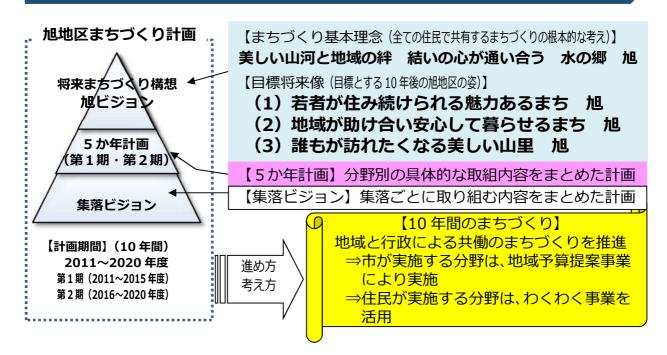
# この 10 年で始まったもの なくなったもの

旭地区ではこれまでの 10 年間で、 旅館・飲食店などの商業施設や小学校 がなくなりました。しかし、移住者に よる新たな事業の展開や農業法人の 設立など、今の旭地区にとってなくて はならない、住民主体の取組がたくさ ん始まっています。



# 第1次旭地区まちづくり計画の総括

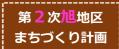
# 計画の構成



# 5か年計画の各目標将来像の取組内容の実施状況

各目標将来像の取組内容の実施状況

_	]標将来像 関連分野)	取組数	主な取組実績地域予算提案事業
	定住・生活	5	空き家情報バンク/延べ70組 176人移住(2019年度末) 低家賃モデル住宅整備/2013年度から供用開始、延べ24世帯42人移住
(1)	道路・交通	4	旧教職員住宅の活用/2棟売却、1棟地域へ譲渡(用途:集会所) 小渡中央広場整備/待合所・駐輪場、トイレ整備、舗装整備 予約バスの運行/2011年度から運用開始、延べ12,742人乗車(2019年度末) 通行支障木伐採支援事業/延べ78か所(13,804m)解消(2019年度末)
	地域力	3	わくわく事業/申請団体数 毎年 9~14 団体(うち新規 1~5 団体)
	防災・防犯	3	防災マップ作成/全自治区で策定済み
(2)	健康・福祉	4	福祉特派員制度の設計と運用/登録者 302 人(2019 年度末)
	学習環境	4	高齢者見守り事業/ 緊急時連絡先情報カード作成・配付(延べ 536 世帯) 放課後児童クラブ開設・運営/小渡小・敷島小で開設(2014 年度)
	産業・観光	6	花の里づくり事業/花木支給(延べ 3,753 本) 観光案内看板整備/68 基設置済み
(3)	農地・森林	6	ブランド化推進事業/ギフトセット作成・販売 旭木の駅 PI/各年度 出材 280~350t、モリ券約 2,000~3,000 枚発行 森づくり会議設置・団地化促進/28 会議設置、107 の団地化(2019 年度末)
	合計	35	



# 現在の旭の姿の検証結果

# (1)若者が住み続けられる魅力あるまち 旭 (定住・生活、道路・交通分野) «目指す まちの姿»

- ① 若者が旭に住み、より住みやすくするための様々な事にチャレンジができるまち
- ② 豊田市街や名古屋への通勤・通学も可能であるほか、市役所旭支所周辺等へも容易に行き来できる交通環境にあるまち
- ③ 暮らしに必要な物やサービスが揃う商店や公共施設(機能)が充実しているまち【検証結果】

#### 定住施策による移住は着実に進みつつある。

また、暮らしに必要な生活基盤やサービスが整備されている。

理由 ・空き家情報バンクの入居実績が伸びている。 (2020 年 12 月末累計:77 世帯 187 人)

- ・小渡中央広場(バスターミナル)の施設が有効利用されている。
- ・地区内で買い物をする人の割合はほとんど変わっていない。

#### (2)地域が助け合い安心して暮らせるまち 旭

(地域力、防災防犯、健康福祉、学習環境分野)

#### «目指す まちの姿»

- ① 地域住民同士が、お互い様の気持ちを持って、世代間を越えて支え合えるまち
- ② 積極的に地域活動が行われているまち
- ③ 地域の目が行き届き、地域に支えられている安心感から不安なく暮らすことができるまち

#### 【検証結果】

#### 地縁に基づくコミュニティが維持されており、支え合う仕組みも醸成されつつある。

- 理由 ・市民意識調査の結果(2019 年)から 8 割の方が近所づきあいに満足しており、日ごろから近所づきあいを行っている。
  - ・福祉特派員の登録者が 300 名を超え、地域の目が行き届く体制が醸成されつ つある。

# (3) 誰もが訪れたくなる美しい山里 旭 (産業・観光、農地・森林分野)

#### «目指す まちの姿»

- ① 潜在的な価値を持つ森林や農地に人の手がしっかりと入り、山里の豊かな恵みが 未来に引き継がれているまち
- ② 農林業にかかわりを持つ暮らしに豊かさを実感できるまち
- ③ 旭地区の自然豊かな景観を生かした四季の魅力に富む取組や、地域住民とのふれあいが訪れる人々を楽しませ、誰もが何度でも訪れたいと感じるまち

#### 【検証結果】

#### 山林や農地の整備、活用の取組が継続され特産品開発、拠点整備も始まりつつある。

- 理由 ・農地の活用や山林の整備が進んだと思う人が過半数を上回っている。
  - ・一部地域では、都市との交流事業も継続的に行われている。
  - ・観光入込客数は、2010年から年間30万人程度で推移している。

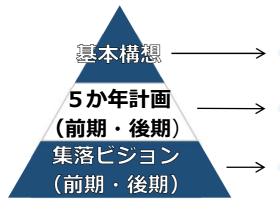


# 第2次旭地区まちづくり計画の概要

旧旭町が豊田市と合併して 16 年が経ちます。この間、「この地域をさらに良くしよう」と考え行動する多くの人たちによって、様々な取組が行われてきました。2011 年度には「旭地区まちづくり計画(計画期間:2011~20年)」を策定し、まちづくりの方向性が明確となり、活発な地域活動や移住者の受入れが実現しています。

「第2次旭地区まちづくり計画」は、前計画を受け継ぎ、旭地区の皆さんがまちづくりの考え方を共有し、「旭地区をもっと住みやすいまちにしたい」と思う人が、それぞれの立場で、自主的にまちづくりに取り組むことができるようにする「道しるべ」です。計画は、「基本構想」「5か年計画」「集落ビジョン」の3つから成ります。

# 第2次旭地区まちづくり計画の構成

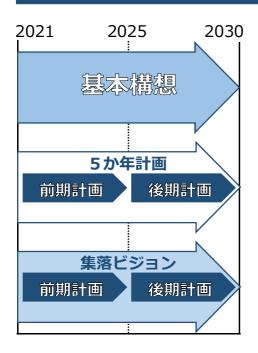


旭地区の皆さんで共有する まちづくりの考え方(10年間変わりません)

基本構想をもとに計画し、具体的に 取り組むこと(5年目に内容を見直します) それぞれの集落の良いところや目標、

取組などをまとめたもの

# 計画期間



- ■基本構想:10年間(2021~30年度) 「基本理念」「めざす姿」の2つで構成されます。
- ・基本理念 まちづくりを進めるために皆さんで 共有する基本的な考え
- ・めざす姿 10年後にめざす旭地区の姿
- **5か年計画**:前期 5年間(2021~25年度) 後期 5年間(2026~30年度)
- ・具体的な取組内容をまとめた5年ごとの計画
- ■**集落ビジョン**:前期5年間(2021~25年度) 後期5年間(2026~30年度)
- ・町内会ごとの地域づくりの方針と具体的な取組 内容をまとめた5年ごとの計画

# 【まちづくりの基本理念】

「まちづくりの基本理念」は、旭地区に住む皆さんがまちづくり活動をするにあたり、基本的な考え方として共に持ち続けたい「合い言葉」です。

# つながる、楽しむ、普通が素敵。だもんで、旭。

「まちづくり」とは何か?と考えたとき、そこに住む人の幸せ な生活をつくることではないかと思い至りました。



第一に、まちづくりには「縦のつながり」と「横のつながり」 が大切だと考えました。旭のいいところの一つである、困ったと

きに助け合える「横のつながり」。そしてそれを子どもたちの世代につないでいく「縦のつながり」。 つながることは、幸せ作りの第一歩だと思います。

そして、「楽しむ」ことの大切さ。人のため、地域のために頑張っても、つらいことは長続きしません。「無理せず、楽しく」も、幸せの大切な要素ではないでしょうか。 最後に、日本中で失われつつある「ご近所さんとの顔の見える関係性」が、旭地区では普通に存在していること、これは大きな強みであると考えました。互いに認め合い、支え合っている旭は、とても素敵です。

# 【めざす姿】

この計画のゴールである 10 年後に、旭地区の「ひと」「くらし」「まち」が、どういう状態になっていてほしいかを「めざす姿」として設定しました。

まずは「ひと」。暮らしを楽しんでいることはもちろん、人口が減って高齢者が増えていく社会では、少しお節介なくらいがちょうどいいのではないかと考えました。 そして、安全・安心な「くらし」を守るため、今後、住民同士の支え合いがますます大切になってくるでしょう。

最後に、旭の人には「住み続けたい」、外の人には「行ってみたい」と思われるような自慢の「まち」をめざします。

#### 第2次旭地区まちづくり計画は、





SDGs(エスディジーズ)を推進します。

SDGs は、**S**ustainable **D**evelopment **G**oal**s**(持続可能な開発目標)の頭文字で、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、17 の目標(ゴール)を定めています。豊田市は、SDGs の推進に積極的に取り組む自治体として、内閣府から選定されています。本計画は、17 の目標(ゴール)のうち、「11 住み続けられるまちづくりを」と「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の2つをめざします。

# 計画の全体像

# 基本構想

2021~30年(10年間)

# 基本理念

# めざす姿

つながる

旭のいいところの一つである、困ったときに助け合える「横のつながり」を、子どもたちの世代にもつなげていきたいという思いを込めて。

### 楽しむ

苦しいこと、つらいことは長続き しないけど、楽しいことならがんば れる。「無理せず、生き生きと、暮 らしを楽しんでいる姿」が、10年後 の旭の姿だといいなという思いを込 めて。

# 普通が素敵

ご近所さんとの顔の見える関係性が、旭では普通(当たり前)に存在しています。しかしそれは、豊田市、愛知県、ひいては日本全体で失われつつあることでもあります。

旭では「普通」だと思われている 「横のつながり」が、失くしたくな い素敵なことなんだという思いを込 めて。

# ひと



人とつながり、 暮らしを楽しむ。 少し世話焼きで、 人とまちを 大切に思うひと。

# くらし



助け合い、 支え合い。 小さなまちならでは の、ふれあい豊かで いつまでも 安心できるくらし。

# まち



訪れてみたい、 帰りたい。 これからもずっと 自慢したくなるような 美しいまち。

# つながる、 楽しむ、 普通が素敵。 だもんで、





# 前期5か年計画

2021~25年(5年間)

# 重点取組項目

P10 重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり 若い世代が地域に定着し、将来 移住・定住 P11 取 のまちづくりの担い手が育ち、皆 組 がいつまでも健康で元気に暮らす 子育て、学び・育ち P12 分 ことで、多くの住民が地域活動に 野 健康づくり 参加できるまちを目指します。 P13

重点取組項目 2 P14

# 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

地域の助け合いが活発に行われ、安全な生活環境が維持される ことで、いつまでも安心して住み 続けられるまちを目指します。 取組分野

福祉	P15
道路・交通、生活	P16
防災、交通安全・防犯	P17

重点取組項目 3 P18

# 美しさと魅力あふれるまちづくり

いつまでも美しい景観を保ち、 地域のことをもっとよく知り、一 人ひとりが愛着と誇りを持つこと で、「ずっと住み続けたい」と思 える自慢のまちを目指します。

取組分野

産業(農林業・商業)	P19
観光・交流	P20
まち、歴史・文化	P2:



# 重点取組項目 1

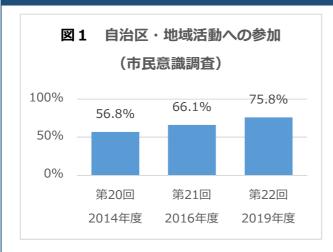
# **※** 持ちが通い合う住民参加のまちづくり

旭地区では引き続き人口減少が進み、地域の担い手が減り、地域活動が困難になることが予測されます。人口構成も偏りがあり、30~40代の若い世代や75歳以上の後期高齢者の地域活動への参加がますます必要になることが見込まれます。

若い世代が地域に定着し、将来のまちづくりの担い手が育ち、皆がいつまでも健康で元気に暮らすことで、多くの住民が地域活動に参加できるまちを目指します。



#### 旭地区の現状



旭地区では、多くの人が積極的に自治区の活動や地域の行事に参加しています。直近の市民意識調査(図1)における自治区・地域活動への参加率 75.8%(豊田市平均 56.7%)は市内第2位であり、まちづくりへの意識がとても高い地域であることがわかります。

しかし、このまま人口減少が進むと、 地域活動に携わる人が減り、今以上に

一人ひとりの負担が増えることになるでしょう。旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査(表1)の「今後力を入れるべき取組」では「子育て・保育環境」や「移住・定住者の受け入れ」の重要性が挙げられており、旭地区に住み続けられるための取組を強化し、地域活動を維持していくことや、住んでいる地域の将来について皆で共有しておくことが大切です。

#### 表1 今後、力を入れていく取組の重要度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

第1位	子育て、保育のしやすい環境づくり	36.9%
第2位	移住者、定住者の受け入れ	34.8%
第3位	豊かな自然や地域資源を生かした学校などの教育、保育環境	30.7%



# 取組分野1 移住・定住

#### (1) 定住支援策の推進

①空き家発掘及び移住希望者のマッチング【地域・行政】

空き家発掘活動、空き家交渉ハンドブック配布、

空き家情報バンク制度による情報発信

②空き家所有者への支援【おいでん・さんそんセンター・行政】

空き家管理制度の運用、空き家対策プログラムの実施、空き家改修補助金、 空き家片付け補助金

- ③家を建て(替え)られる用地の確保など環境整備【行政】
  - 2戸2戸作戦(小規模宅地分譲事業)、農振農用地の解除に向けた行政書士相談の実施、空き地情報バンク制度の運用
- ④移住者への支援【行政】

空き家活用支援事業(包括的支援)、空き家改修補助金、山村地域等定住応援補助金

#### (2)田舎暮らしの魅力発信

- ①移住希望者増加に向けた情報発信及び支援【地域・行政】
  - 地元交流会の開催、エビネの里及び市営住宅入居者へのフォロー体制づくり
- ②都市と農山村の交流による移住きっかけづくり【地域・団体・おいでん・さんそんセンター】 農林業体験交流及びセカンドスクールの実施、企業と地域/団体のマッチング事業

#### (3)仕事探しの支援

①暮らしに合わせた仕事紹介システムの構築【**商工会・行政**】

あさひワークナビ(小仕事情報バンク)の仕組みの再構築及び PR

#### 具体的な取組事例

#### 空き家管理制度の運用

空き家情報バンクへの登録を促進するために、 空き家となっている物件の清掃や草刈りにかかる 費用を補助します。



# 2025 年にめざす状態

■自治区・地域活動に参加して いる住民の割合(市民意識調査)

75.8%(2019年)

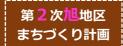
· - - -

80.0%(2025 年)

■「移住者・定住者を受け入れる雰囲気が地域にある」満足度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

26.7% (2019年)

∜



# 取組分野 2 子育て、学び・育ち

# (1)子育て環境の充実

①子育て支援制度・施設の活用及び周知【行政】

保健師による家庭訪問や健康相談、家事育児ヘルパー派遣制度、

ファミリーサポートセンター事業、放課後児童クラブ、

子育て広場の開放(小渡こども園)、子育て支援センター(杉本こども園)

②子どもの居場所づくりと交流の場の創出 (地域・団体・ぬくもりの里・交流館) そらまめキッズ (交流館事業) 開催、ぬくもり寺子屋開催、 すぎん工房を活用した住民同士の交流、しきしまプレーパーク整備

#### (2)子どものまちづくりへの参加

- ①学校・こども園と連携した子どものまちづくりへの参加【学校・こども園・地域】 わくわく事業「未来に種をまこう枠」の活用、旭中学校地域会議の開催、 各種地域イベントへの参加、まちづくり団体活動への参加
- ②地域住民の学校教育への参加・協力と郷土学習の推進【学校・地域・団体】 地域人材の発掘とコーディネート(学びあい本部)、 授業等での地域住民・活動団体の指導及び協力、郷土芸能の指導

# (3) 生涯学習の推進

①学びの場の充実【学校・地域・団体・交流館・行政】

旭中学校の地域住民への利用開放(学びあい本部)、生涯学習出前講座の開催、 つくラッセルを利用した団体主催の教室の開催、交流館事業の実施

#### 具体的な取組事例

#### 地域住民・活動団体の学校授業への協力

旭地区では、多くの団体や地域の方が学校 やこども園と積極的に関わり、子ども達の学 びを支援しています。



# 2025 年にめざす状態

■児童生徒とともに行う地域の 活動への参加の割合(市民意識調査)

35.4% (2019年)

∜

40.0%(2025年)

■「豊かな自然や地域資源を活かした学校教育・保育環境」満足度 (旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

20.8% (2019年)

Ш



# 取組分野3 健康づくり

# (1)健康寿命の延伸

- ①自分の健康状態を知る【地域・交流館・行政】 
  健康診査の受診勧奨の充実、出前講座の開催や健康チェックの拡充(自治区・交
  - 健康診査の受診衝突の発表、出削講座の開催や健康ナエックの拡充(自治区・交流館講座)
- ②運動習慣の定着 【地域・交流館・行政】 高齢者の体力づくり・転倒予防・認知症予防を目的とした「元気アップ教室」、 各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催
- ③バランスのよい食習慣の定着 【地域・行政】 ヘルスサポートリーダーや管理栄養士等による生活習慣病予防の啓発活動の実施
- ④歯と口の健康の推進 【地域・行政】 歯科衛生士による歯と口の健康に関する出前講座の開催
- ⑤規則正しい生活習慣の定着 【地域・学校・行政】 学校保健委員会活動や保健師による健康教室の実施、 保護者を対象にした生活習慣病予防に関する取組の充実

# (2) まちぐるみの健康づくりの推進

- ①健康になるための活動ができる仲間や場所づくり 【地域・ぬくもりの里・交流館】 地域ふれあいサロン・高齢者クラブ・交流館自主グループ活動等の継続実施と 各関係機関と連携した事業の推進
- ②まちぐるみ家族ぐるみで推進する多世代参加の健康づくり【地域・交流館】 旭&朝日丘ふれあい交流事業、自治区集会・行事、交流館講座の開催

#### 具体的な取組事例

#### 元気アップ教室

65歳以上の方を対象に、脳トレ、ストレッチ、筋トレを仲間と一緒に行うことで、体力の維持増進、認知症予防、転倒予防、閉じこもりを予防します。



# 2025 年にめざす状態

■適度に運動するか体を動かしている住民の割合(市民意識調査)

47.5%(2019年)

- 55.0%(2025年)
- ■「体力維持や病気予防の取組 の充実」満足度 (旭地区のまちづくりを 考えるアンケート調査)

7.2%(2019年)

 $\Downarrow$ 



# 安。

#### 重点取組項目 2

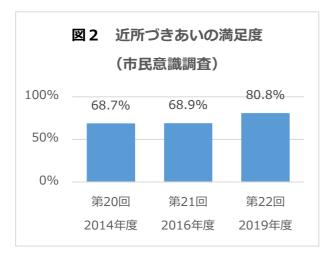
# 全に安心して暮らし続けられるまちづくり

高齢化が進む旭地区で安全で安心な暮らしを続けるためには、小規模な地域という特性を生かした、一人ひとりへのきめ細やかな支援が求められます。防災の取組や道路の安全確保、高齢者福祉サービスの充実が今後ますます必要になります。

地域の助け合いが活発に行われ、安全な生活環境が維持されることで、いつまでも安心 して住み続けられるまちを目指します。



#### 旭地区の現状



旭地区の大きな特徴は、ご近所さんとの顔の見える関係性です。市民意識調査(図2)においても、毎回満足度が上がっており、第22回の調査では市内で最も高い数値となりました。豊田市全体の平均値が55.9%であることから、これは旭地区の強みと言っていいでしょう。

旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査(表2)で「今後力を入れるべ

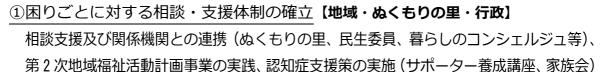
き取組」については「災害対策」や「高齢者の安全安心」が上位に挙がりました。 旭地区に住むすべての人が、地域と関わりを持ちながら、安心して自分らしく暮ら すためには、「支え合う力」が今後ますます大切になってきます。

#### 表 2 今後、力を入れていく取組の重要度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

第1位	洪水・土砂災害などの災害に対する安全対策	45.7%
第2位	高齢者が安心して暮らすことができる環境整備	43.8%
第3位	必要な医療・福祉サービスが確保	42.9%

# 取組分野 1 福祉

# (1)暮らしの不安解消



②地域ぐるみの見守り活動の充実【地域・ぬくもりの里・企業・行政】

福祉特派員制度の PR 及び情報交換会の開催、豊田市ささえあいネット~高齢者見守りほっとライン~、ひとり暮らし高齢者登録、お元気ですかボランティア、緊急連絡先カード・お困りカードの活用、安否確認旗活動(幸せの黄色いハンカチ運動の会)

#### (2) 高齢者の外出促進

①高齢者の移動手段に関する困りごとの解決

【関係機関・ぬくもりの里・おいでんさんそんセンター・行政】

暮らしのコンシェルジュによる個別支援事業の検討・実施、たすけあいプロジェクトの推進(たすけあいカー)、小型モビリティ「里モビ」の活用、旭地区の暮らしの足を考えるプロジェクト会議の開催・運営、自治区敬老会開催支援

②高齢者のいきがいと居場所づくり【地域・団体・ぬくもりの里】

旭さんさんクラブの開催、地域ふれあいサロンの開催、高齢者クラブ活動の継続、 福祉農業実践プロジェクト (メグ友会)、老人福祉センターぬくもりの里 (おしゃべりカフェ)、老人憩の家あさひ荘の管理・運営

#### 具体的な取組事例

#### 福祉特派員制度

旭地区では約300人が福祉特派員として活動しています。特派員の具体的な活動は、「郵便物がたまっている家がある」や「近所のお年寄りの姿を最近見かけない」など、日常のちょっとした変化をぬくもりの里に連絡することです。

連絡を受けたぬくもりの里は、必要と思われる対応を速やかにとります。



# 2025 年にめざす状態

■近所づきあいに満足している 住民の割合(市民意識調査)

80.8% (2019年)

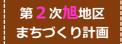
∜

85.0%(2025年)

■「高齢者が安心して暮らすことができる」満足度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

10.1% (2019年)

 $\downarrow \downarrow$ 



# 取組分野2 道路・交通、生活

#### (1) 幹線道路・生活道路の整備

①県道、市道及び生活道路の整備促進【地域・行政】

通行支障木の伐採支援事業(高所作業支援・委託伐採)、各地区の期成同盟会による陳情(県道)、自治区工事申請書の提出(市道)、県管理道路における草刈り作業、市道及び河川における草刈り作業

# (2)バスの利便性向上

①利用者ニーズに合ったバス運行の見直し【協議会・行政】

利用状況の検証・運行見直し(停留所の増移設、運行内容の見直し)、旭地域バスにのろまい協議会での検討

②地域バスの利用促進に向けた検討・実施【協議会・行政】

地域バス乗車特典の実施、暮らしのコンシェルジュのバス乗車補助による乗車体 験等の実施

#### (3) 生活環境の整備

①ツキノワグマ対策の実施【地域・行政】

生活支障木(柿の木)の伐採支援事業、注意喚起のための地域巡回活動

②買い物環境の向上【地域・企業・行政】

日用品の移動販売、見守りを兼ねた個人宅配サービス

#### 具体的な取組事例

#### ツキノワグマ対策事業

山間地域である旭地区では、クマが民家近くでも行動しているものとして認識し、人とクマが不意に出会わないようにするため、利用されていない柿の木の伐採や、講習会等を実施します。



# 2025 年にめざす状態

■「必要なものが身近で購入できる」満足度 (旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

2.5%(2019年)

1

5.0% (2025年)

■「通勤や通学に必要な公共交通 環境が整っている」満足度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

6.3% (2019年)

11

# 取組分野3 防災、交通安全・防犯

# (1) 防災活動の充実

①減災・防災意識の向上啓発【地域・団体】

防災訓練の実施、減災学習会の実施、飛散防止フィルム貼り講習会の実施(旭 GS ボランティア)、自主防災会事業補助金の活用

②災害時の迅速な避難行動のための防災体制の推進 【地域・行政】

災害時避難訓練の実施、災害時避難行動マニュアルの作成・周知、避難行動要支援者情報の活用、防災マップ及びハザードマップの活用、情報伝達手段の周知、防災ヘリ発着場の整備に向けた検討(榊野町埋立地)

# (2)交通事故防止及び防犯対策の推進

- ①住民相互の交通安全・防犯活動の実施 【地域】 ご近所同士の声掛け・パトロール等の実施、登下校時の子どもの見守り活動、交通安全立哨活動
- ②交通事故及び犯罪を防ぐための支援制度の活用【地域・行政】 通行支障木の伐採支援事業、交通事故防止設備の整備(ガードレール、カーブミラー等)、自主防犯活動物品支給制度の活用、防犯カメラの設置

#### 具体的な取組事例

#### スクールガード活動

旭地区では、地域を挙げた子どもの見守り 活動が活発に行われています。

一例として、小渡自治区では、小渡小学校児 童の交通安全と防犯を目的としたスクールガ



ード活動を実施 しています。下 校時に小渡中央 広場バス停まで 付き添いを行っ ています。

# 2025 年にめざす状態

■防災訓練に参加経験がある住 民の割合(市民意識調査)

81.8% (2019年)

1

85.0% (2025年)

■「自主防犯活動が充実している」満足度 (旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

6.0%(2019年)

 $\parallel$ 



# 重点取組項目 3

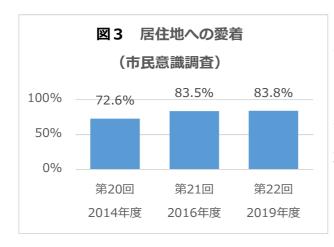
# しさと魅力あふれるまちづくり

旭地区がこれからもずっと住み続けたいまち、幸せを感じられるまちになるためには、一人ひとりが地域のために何かしたいという思いを持つことが大切です。また、外部の来訪者などからの評価を高める取組を通じて、地域に対する自信や誇りを深め、地域活動に生かしていく必要があります。

いつまでも美しい景観を保ち、地域のことをもっとよく知り、一人ひとりが愛着と誇りを持つことで、「ずっと住み続けたい」と思える自慢のまちを目指します。



#### 旭地区の現状



旭地区では、多くの人が居住地に愛着を持っています。直近の市民意識調査(図3)における83.8%は、市内で2番目に高く、豊田市全体の平均値は77.0%であることから、居住地への意識が高いことがうかがえます。

また、旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査(表3)で「今後力を入れるべき取組」については、「農作物等を

守る獣害対策」や「森林資源の有効活用」、「田畑の適切な管理」が上位に挙がりました。中山間地である森林、農地を保全し、地域資源を生かしたまちづくりが必要になってきます。

#### 表3 今後、力を入れていく取組の重要度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

第1位	農作物等を守るために必要な鳥獣害対策の推進	41.0%
第2位	森林が健全に保全され、森林資源が有効活用	34.6%
第3位	営農体制の維持などによる田畑の適切な管理	34.6%

# 取組分野1 産業(農林業・商業)

# (1)地域資源を活用した産業の育成

- ①地域通貨や特産品を活用した商業活性化 【地域・団体・商工会・行政】 地域通貨(モリ券・商工会商品券)の発行、ブランド化による特産品の販売、自然薯等の6次産業事業支援
- ②地域の施設や土地、人材の有効活用による産業の活性化【**団体・企業・行政**】 つくラッセルの有効活用、空き地(榊野町埋立地等)や空き施設への企業誘致や 施設園芸等による利活用の検討、空き家の新規事業展開サポート

# (2) 営農体制の整備と鳥獣害対策

- ①集落営農の取組と担い手の育成【地域・おいでんさんそんセンター・行政】 集落営農事業の推進、農地環境整備事業、農業体験の実施(セカンドスクール等)
- ②遊休農地の利活用 【地域・企業・おいでんさんそんセンター・行政】 農地バンク制度の活用、都市と農山村の交流・外部活力の活用 (農業体験の実施)
- ③獣害対策の推進 【地域・行政】 獣肉活用施設の活用、獣害対策支援制度の活用(柵・ネット等の購入補助)

#### (3)森林保全と森林資源の活用

- ①健全な森づくりと森林資源の有効活用 【地域・団体・行政】 森づくり会議の設置、森づくり団地化による間伐の推進、旭木の駅プロジェクト 事業の推進、各種団体の取組支援
- ②各種活動団体と連携した林育の推進 ツリーハウスや遊具づくり等(あさひガキ大将養成講座)、森の健康診断・竹馬 づくり・薪割り体験等(あさひ根っ子の会)

#### 具体的な取組事例

#### 獣害対策支援制度の活用

シカの出没が多くなったことから、新たにネットの設置や高さ 2m のメッシュ柵の設置を実施しています。



# 2025 年にめざす状態

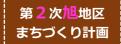
■「集落活動などにより、美しい 農村景観が守られている」満足度 (旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

13.5%(2019年)

20.0%(2025年)

■「農作物等を守るために必要な 鳥獣害対策が進んでいる」満足度 (旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

12.4% (2019年)



# 取組分野 2 観光・交流

#### (1) 観光事業の充実と情報発信

①地域イベント等の情報発信【地域・観光協会・行政】

旭観光協会等の HP・SNS 等による情報発信、地域イベント等の窓口一元化

②観光客誘致策の推進【地域・観光協会・企業・行政】

観光事業者と連携したツアーの開催(矢作ダム見学、しだれ桃見学、夢かけ風鈴まつり等)、旭マルシェの開催、地域資源の温泉や川を活用した誘致活動新たな体験プランの作成及びインストラクターの養成

#### (2)観光拠点の整備

①地域資源を活かした花の里づくり事業【地域・行政】

観光及び経済の拠点となる旭高原元気村・小渡町及び笹戸町を花の里として整備、上中しだれ桃の管理

②旭高原元気村の活用促進 【元気村・行政】

旭高原体験型プログラムの充実、散策道の再整備、宿泊施設の見直し

#### (3)地域内外の交流による地域活性化

①交流事業による関係人口の増加【地域・団体・企業】

「暮らし観光」人との交流から人口を増やす (農林業体験会、企業の事業拠点としての活用、田舎暮らし体験会)、集落活動応援隊の活用、愛知学泉大学との連携事業の推進

#### 具体的な取組事例

#### 旭マルシェ「あさひ照ラス」の開催

令和2年10月から旭観光協会周辺3か所で約15店舗が参加しています。



# 2025 年にめざす状態

■「観光イベント・スポットが充 実している」満足度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

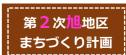
8.4%(2019年)

20.0%(2025年)

■「水の郷旭にふさわしい川を活用した取り組みが進んでいる」満足度(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

3.7%(2019年)

∜



# 取組分野3 まち、歴史・文化

#### (1) オールあさひの郷土愛醸成

①地域情報の共有及び魅力発信【地域・団体・行政】



地域住民対象の旭地区周遊ツアー、あさひごよみによる地域行事の情報発信(やさしい暮らし委員会)

# (2) 歴史・伝統文化の継承

①地域の歴史・文化財の保存【地域・行政】

旭の思い出アーカイブ作品の展示・展開、地域住民対象に歴史・文化財を巡る周 遊ツアー

各団体・町内会による歴史の振り返り(ふるさとアーカイブプロジェクト)

②郷土芸能、郷土食などの伝統文化の継承【地域・行政】

ブランド化による郷土食や特産品の販売、郷土芸能の披露の場(あさひまつり)、元気な愛知の市町村づくり補助金の活用による棒の手等保存会の支援

# 具体的な取組事例

#### 棒の手保存会

先人から伝授された郷土伝統民俗芸能の技 術の向上と伝承を図り、小中学生に継承活動 を進め、地域の親睦を深めています。



# 2025 年にめざす状態

■居住地への愛着を感じている 住民の割合 (市民意識調査)

■「伝統・文化や祭りなどの保存・継承ができている」満足度(地地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

# 目 次

# 旭地区のまちづくりを考える アンケート調査 結果報告書

令和元年 12 月 旭地域会議 豊 田 市

1 調	査の概要	P3
2	]查結果	…P4
回答者	の属性について	
問1	あなたの性別は	…P 4
問2	あなたの年齢は	…P 4
問3	あなたのお住いの地区(自治区)は	…P 6
問4	あなたの出生地(お生まれ)は	…P 6
問 5	あなたの同居している家族構成は	…P 7
問6	あなたの職業は	…₽ 7
問7	あなたの勤務地(通学地)は?	P9
<b>也地区</b>	のまちづくり全般について	
問8	日常生活での満足度について	…P1 0
問 9	今後、力を入れていく取組の重要度について	…P1 3
旧地区	の施設やイベントへの参加(利用)状況につい	\ <i>T</i>
問 11		P1 6
問 12		
問 13		
白中章	見のまとめ	
	) 今後力を入れて取り組んでいくべきだと考える項目について	の音月, 坦安
ן ד ניין		
問 14	自由記載欄(旭地区のまちづくりについてのご意見	…P37 ョ. ブ坦安)
DJ 14		卍・⊂挺条/ ···p48

アンケート調査票

#### 1 調査の概要

#### (1)調査の目的

次期まちづくり計画の策定に向けて、今後の旭地域のまちづくりに向けた課題、現状を把握するための資料とします。

#### (2)調査対象

旭地域に住む15歳(平成31年4月1日現在)以上(義務教育を終えた方)の全員2,447人及び旭中学校の全校生徒39人の合計2,486人を対象としました。

#### (3)調査方法

調査票は区長会を通じて、町内会長に配付。町内会長は各世帯 (平成31年4月1日現在で15歳以上(義務教育を終えた人)の世帯人数分)へ直接配付していだたき、回収も各世帯から町内会長、町内会長から自治区長へと直接回収していただきました。

中学生については、調査票を中学校へ持ち込み、学校の授業の一環として実施していただきました。

#### (4)調査期間

令和元年10月8日(火)から令和元年11月18日(月)まで

#### (5)回収結果(中学生含む)

抽出数	有効回答数	有効回答率
2,486 人	1,542 人	62.0%

#### (6) 調査項目

① 回答者の属性に関する質問	7問
② 現在の生活環境に関する質問	1問
③ 今後力を入れていくべき取組に関する質問	2問
④ 利用または見学したことのある施設に関する質問	1問
⑤ 参加または見学したことのあるイベント、行事等に関する質問	2問
⑥ 自由記載	1問

#### 2 調査結果

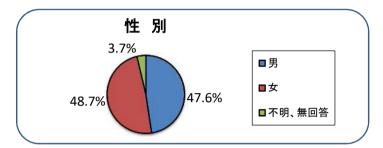
#### 各設問の調査結果

#### 問1 あなたの性別は?

# ①全体

(単位:人)

男性	女性	無回答	総計
734	751	57	1,542



#### ②自治区別

(単位:人)

				(-1-1-1)
自治区別	男	女	不明、無回答	総計
総計	734	751	57	1,542
浅野	139	143	8	290
小渡	102	91	6	199
笹戸	81	88	4	173
敷島	287	294	12	593
築羽	123	130	7	260
無回答	2	5	20	27

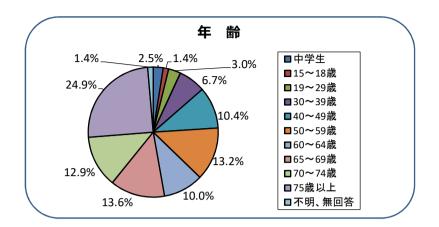
#### 問2 あなたの年齢は

#### 1)全体

(単位:人)

中学生	15~18 歳	19~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳
38	21	47	104	160	204

60~64 歳	65~69 歳	70~74 歳	75 歳~	不明、無回答	総計
154	210	199	384	21	1,542



②**自治区別** (単位:人)

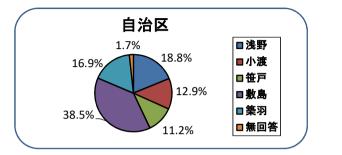
自治区別	中学生	15~18 歳	19~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳
総計	38	21	47	104	160	204
浅野	4	2	6	14	31	36
小渡	3	1	2	8	18	27
笹戸	8	4	3	13	23	26
敷島	16	12	27	50	63	91
築羽	4	2	9	18	25	23
無回答	3	0	0	1	0	1

自治区別	60~64 歳	65~69 歳	70~74 歳	75 歳~	不明、無回答	総計
総計	154	210	199	384	21	1,542
浅野	33	47	52	64	1	290
小渡	23	25	25	67	0	199
笹戸	16	24	20	36	0	173
敷島	52	77	68	136	1	593
築羽	29	37	33	77	3	260
無回答	0	0	1	4	17	27

#### 問3 あなたのお住いの地区(自治区)は?

①全体 (単位:人)

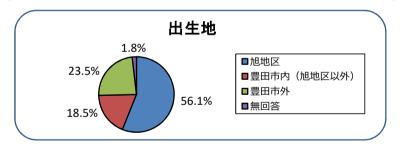
浅野自治区	小渡自治区	笹戸自治区	敷島自治区	築羽自治区	無回答	総計
290	199	173	593	260	27	1,542



#### 問4 あなたの出生地(お生まれ)は?

①全体 (単位:人)

旭地区内	豊田市内 (旭地区を除く)	豊田市外	無回答	総計
865	286	363	28	1,542



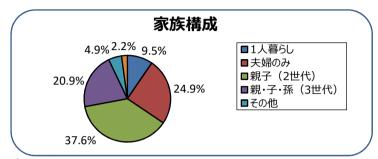
**②自治区別** (単位:人)

1/4/2/3/					(+12.70)
自治区別	旭地区	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	無回答	総計
総計	865	286	363	28	1,542
浅野	168	43	77	2	290
小渡	125	27	46	1	199
笹戸	90	37	46	0	173
敷島	328	121	142	2	593
築羽	153	57	49	1	260
無回答	1	1	3	22	27

#### 問5 あなたの同居している家族構成は?

**①全体** (単位:人)

一人暮らし	夫婦のみ	親子 (2 世代)	親・子・孫 (3世代)	その他	不明、無回答	総計
147	384	580	322	75	34	1,542



②自治区別

(単位・人)

3/11/57/1/3	(=	ド位・人)					
自治区別	一人暮らし	夫婦のみ	親子 (2 世代)	親・子・孫 (3 世代)	その他	不明、無回答	総計
総計	147	384	580	322	75	34	1,542
浅野	31	81	124	43	9	2	290
小渡	15	64	72	41	6	1	199
笹戸	10	34	79	41	6	3	173
敷島	55	140	222	137	32	6	593
築羽	34	64	81	59	22	1	260
無回答	2	1	2	1	0	21	27

●「その他」の内容(主なもの)

・4 世代…17 件 ・親と孫…2 件

・姉妹のみ…2 件

#### 問 6 あなたの職業は?

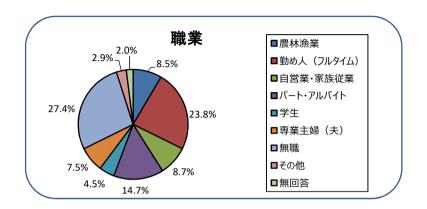
①全体 (単位:人)

農林漁業	会社員等 勤め人	自営業 家族従業	パートタイマー アルバイト	学生 (中学生含 む)	
131	367	134	227	70	

専業主婦 (夫)	無職	その他	無回答	総計
115	422	45	31	1,542

#### ●「その他」の内容(主なもの)

・シルバー人材センター…3件 ・電気工事士…1件 ・陶芸家…1件



②自治区別

(単位:人)

自治区別	農林漁業	会社員等 勤め人	自営業 家族従業	パートタイマー アルバイト	学生 (中学生含 む)
総計	131	367	134	227	70
浅野	20	59	19	49	8
小渡	11	39	41	22	5
笹戸	10	42	18	32	13
敷島	54	170	41	86	33
築羽	36	55	15	38	8
無回答	0	2	0	0	3

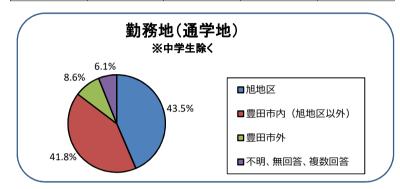
自治区別	専業主婦 (夫)	無職	その他	無回答	総計
総計	115	422	45	31	1,542
浅野	26	98	11	0	290
小渡	13	55	9	4	199
笹戸	13	43	2	0	173
敷島	40	148	17	4	593
築羽	23	76	5	4	260
無回答	0	2	1	19	27

#### 問7 **あなたの勤務地(通学地)は?**(問6で1~5に該当のみ\*)

※ 中学牛除く

①**全体** (単位:人)

旭地区内	豊田市内 (旭地区除く)	豊田市外	不明、無回答、 複数回答	総計
388	372	77	54	891



②自治区別

(単位:人)

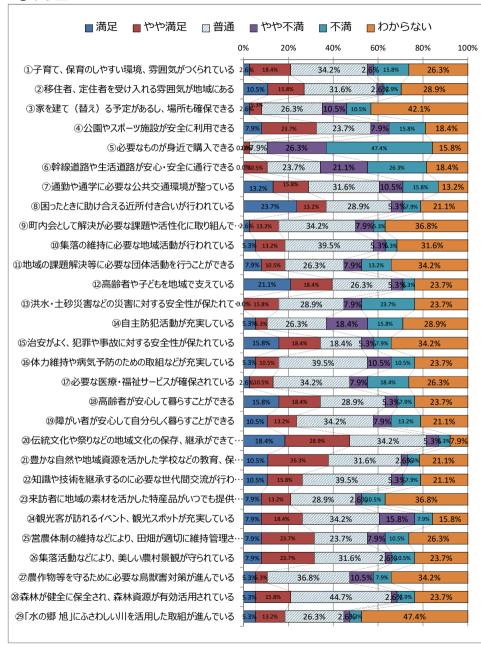
自治区別	旭地区内	豊田市内 (旭地区除く)	豊田市外	不明、無回答、 複数回答	総計
総計	388	372	77	54	891
浅野	72	55	15	9	151
小渡	63	39	6	7	115
笹戸	49	40	11	7	107
敷島	139	176	31	22	368
築羽	64	61	14	9	148
無回答	1	1	0	0	2

#### 旭地区のまちづくり全般について 問8 日常生活での満足度について

①全体



#### ②中学生



#### ③年代別順位

#### (満足度の高い順) グ

満足度	第1位		第2位		第3位	
中学生	治安がよく、犯罪や事 故に対する安全性が保 たれている	3.15	高齢者や子どもを地域 で支えている	3.11	困ったときに助け合え る近所付き合いが行わ れている	3.11
15~ 29 歳	治安がよく、犯罪や事 故に対する安全性が保 たれている	3.43	豊かな自然や地域資源 を活かした学校などの 教育、保育環境がある		伝統文化や祭りなどの 地域文化の保存、継承 ができている	3.27
30~ 49 歳	困ったときに助け合え る近所付き合いが行わ れている	3.49	豊かな自然や地域資源 を活かした学校などの 教育、保育環境がある	3.48	移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	3.37
50~ 64 歳	困ったときに助け合え る近所付き合いが行わ れている	3.25	移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	3.13	豊かな自然や地域資源 を活かした学校などの 教育、保育環境がある	3.11
65 歳 ~	困ったときに助け合え る近所付き合いが行わ れている	3.25	移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	3.24	治安がよく、犯罪や 事故に対する安全性 が保たれている	3.07
全体	困ったときに助け合え る近所付き合いが行わ れている	3.29	移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	3.23	豊かな自然や地域資源 を活かした学校などの 教育、保育環境がある	3.16

#### (満足度の低い順) ユ

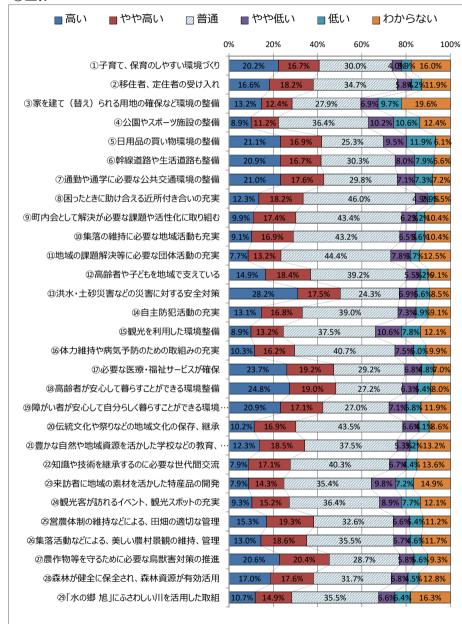
不満足度	第1位		第2位		第3位	
中学生	必要なものが身近で購 入できる	1.65	自主防犯活動が充実し ている	2.16	幹線道路や生活道路 が安心・安全に通行 できる	2.26
15~ 29 歳	必要なものが身近で購 入できる	1.60	通勤や通学に必要な公 共交通環境が整ってい る		観光客が訪れるイベン ト、観光スポットが充 実している	2.30
30~ 49 歳	必要なものが身近で購 入できる	1.67	通勤や通学に必要な公 共交通環境が整ってい る		障がい者が安心して 自分らしく暮らすこ とができる	2.14
50~ 64 歳	必要なものが身近で購 入できる	1.65	通勤や通学に必要な 公共交通環境が整っ ている	1.92	洪水・土砂災害などの 災害に対する安全性が 保たれている	2.21
65 歳 ~	必要なものが身近で購 入できる	1.94	通勤や通学に必要な 公共交通環境が整っ ている	2.27	来訪者に地域の素材 を活かした特産品が いつでも提供できる	2.35
全体	必要なものが身近で購 入できる	1.79	通勤や通学に必要な 公共交通環境が整っ ている	2.10	障がい者が安心して 自分らしく暮らすこ とができる	2.35

11 / 52

12 / 52

#### 問9 今後、力を入れていく取組の重要度について

#### ①全体



#### ②中学生



13 / 52

#### ③年代別順位

#### (重要度の高い順) ♪

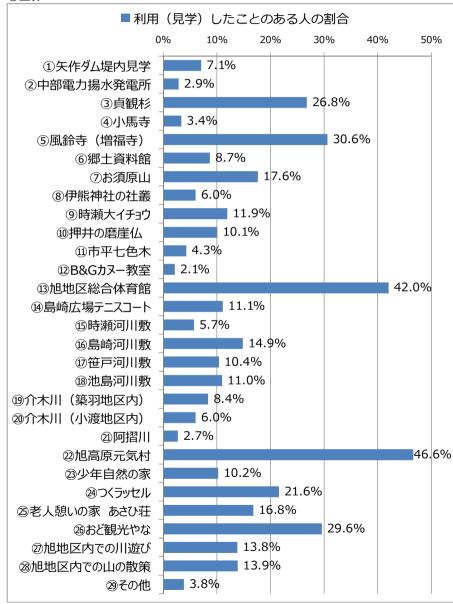
重要度	第1位		第2位		第3位	
中学生	洪水・土砂災害などの 災害に対する安全対策	3.38	公園やスポーツ施設の 整備	3.35	移住者、定住者の受 け入れ	3.30
15~ 29 歳	子育て、保育のしやす い環境づくり	3.87	洪水・土砂災害などの 災害に対する安全対策	3.81	通勤や通学に必要な公 共交通環境が整ってい る	3.69
30~ 49 歳	洪水・土砂災害などの 災害に対する安全対策	4.17	子育て、保育のしやす い環境づくり	4.00	必要な医療・福祉サ ービスが確保	3.95
50~ 64 歳	洪水・土砂災害などの 災害に対する安全対策	3.67	子育て、保育のしや すい環境づくり	3.62	高齢者が安心して暮ら すことができる環境整 備	3.59
65 歳 ~	高齢者が安心して暮ら すことができる環境整 備	3.54	農作物等を守るため に必要な鳥獣害対策 の推進	3.53	必要な医療・福祉サ ービスが確保	3.48
全体	洪水・土砂災害などの 災害に対する安全対策	3.68	高齢者が安心して暮ら すことができる環境整 備	3.62	子育て、保育のしや すい環境づくり	3.61

#### (重要度の低い順) つ

不要度	第1位		第2位		第3位	
中学生	豊かな自然や地域資源 を活かした学校などの 教育、保育環境	2.64	地域の課題解決等に必 要な団体活動の充実	2.68	困ったときに助け合 える近所付き合いの 充実	2.79
15~ 29 歳	地域の課題解決等に必要な団体活動の充実	2.92	集落の維持に必要な地 域活動も充実	2.96	町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組む	2.98
30~ 49 歳	観光を利用した環境整備	3.16	観光客が訪れるイベント、観光スポットの充実	3.18	来訪者に地域の素材 を活かした特産品の 開発	3.19
50~ 64 歳	公園やスポーツ施設の 整備	2.94	来訪者に地域の素材 を活かした特産品の 開発	3.00	観光客が訪れるイベン ト、観光スポットの充 実	3.03
65 歳 ~	公園やスポーツ施設の 整備	2.76	観光を利用した環境 整備	2.98	家を建て(替え)ら れる用地の確保など 環境の整備	2.99
全体	公園やスポーツ施設の 整備	2.97	観光を利用した環境 整備	3.06	来訪者に地域の素材 を活かした特産品の 開発	3.08

#### 旭地区の施設やイベントへの参加(利用)状況について 問 11 最近 5 年間で利用や見学したことのある施設は?

#### **①全体**

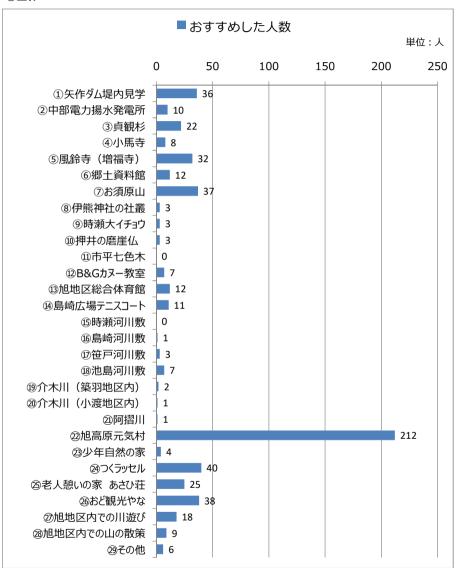


#### 「その他」でご記入いただいた施設等

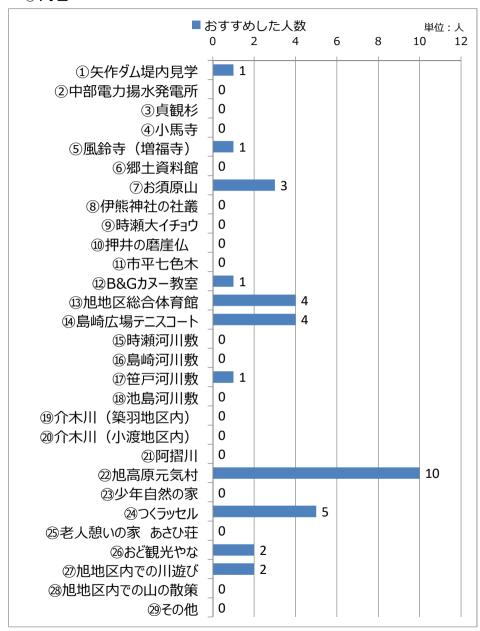
老人ホーム(日和) 農林会館・浅野会館・築羽会館・旭交流館 旭支所2Fの貸衣裳展示会 智教院のお月見会の参加 小渡不動尊 渓流荘の otonowa ライブ、小渡神明社、ジャズライブ 夢かけ風鈴祭り おど竹灯籠祭りと十五夜月見会 渓流荘、農業センター 万町長紙屋の春の花 上中しだれもも 交流館、つくば会館、敷島会館、小渡商店街 交流館、一井寺 旭八幡神社の社叢(丈祭、つくばね草あり) すぎんこ 交流館、旭八幡神社 笹戸カントリークラブ、ゴルフクラブ大樹 あさひガキ大将養成講座 ちんちゃん亭 福蔵寺 (ご縁市などのイベント) 智教院 すぎん工房、交流館 各町内でお守りしている観音堂とか、火傷や失い物の守りの薬師堂。 旭中学校 「ちんちゃん亭」が何故ないのか。効果絶大のはず。 智教院。 旭中学校「学びあい本部」 カヌー教室 一般の自由教室があれば町外より集まると思います。 加塩の庚申堂。本藤のつくりや天井、彫り物などじっくり見てほしい所があるので・・・。 東萩平 さくら村 すぎん工房、旭交流館(図書館) 明智光秀祭りに行き、明知城攻略ウォークに参加(令和元年5月3日) 惣田のヒノキ フットサルの練習で小学校のグラウンドを利用させていただいています。 笹戸公園と温泉入浴。「笹戸温泉 | 交通の便も良し。地域バスもある。入浴だけでも OK。(2 施設) 規 模も大きい。気軽に立ち寄ってほしい。 笹戸の棚田の原風景、笹戸公園一帯ハイキング、笹戸鮎見橋でのスケッチ。 ぬくもりの里 笹戸温泉

#### おすすめしたい施設との理由

#### **①全体**



#### ②中学生



19 / 52

#### お勧めする理由

お勧めする埋田	
①矢作ダム堤内見学	ここにしかないものだから。
	矢作ダム堤内が見学できる。
	旭地区の人口が大きく変動した公共工事であった。
	自分も一度見学してみたいと思っています。
	矢作ダム周辺の環境整備をし観光地化したら!
	水資源の大切さ、活用の様子を小学生の学習(社会化)に活用してもらえばい
	いなと思う。
	1度は見ると良い。
	夏涼しい。他にないので一度は見てみるべき。
	ダムマニアの集客を増やす
②中部電力揚水発電所	自然や懐かしいと思えるものが好きだから。
③貞観杉	天然記念物(他 2 件)
	文化財であり、ご神木である。
	とても立派な杉なので、一度見た方が良いなと思います。
	杉本のシンボルだから。
④小馬寺	白鳳時代約 1300 年から栄えた力のある寺を、旭町の誇りをもって紹介したい。
	由緒あふれる小馬寺に興味を持つ1人として、地域住民にもっと知ってほしい。
	小馬寺は約1600年も前からあります。
	ほとんど知られていないから。
⑤風鈴時(増福寺)	観光客?が増えてる気がするから。
(い町日本) いまけまび)	お寺の環境も少しずつ良くなりました。奉納風鈴に素直に自分の気持ちを願い
	ことを短冊に託す。気持ちが少し晴れる気がする。
	鈴の音の横を歩くだけでも素晴らしい心の喜びです。
	小渡全体の景色
	風鈴に力を注いでいると見受けられるため観光としてとても良いため。
	夏に行くと涼しい雰囲気を感じられるから。
	さかやさんでの風鈴絵付け。新鮮な経験だった。
	400年の歴史を持つ、富山(増福寺)、風鈴寺。
	風鈴は若い人に人気だから。インスタ映えするなど。(写真映え)
	きれい
⑥郷土資料館	郷土の歴史を見つめ直すにもいい機会と思います。
	校舎と展示と両方が見学ができ、とても参考になりました。長い廊下はとても
	懐かしかった。昭和を感じて嬉しかった。
	旭の過去を知り、先人たちの努力が今日の旭を築いていることに想いを致し、
	新しい旭地区を想像する意欲をかきたててほしい。
	旭の「今まで」を知り、今とこれからへ繋げていくことは、重要と思う。
	自然や懐かしいと思えるものが好きだから。
⑦お須原山	旭でこんな景色が見えるとは。
	縁結びとかのスポットは若者に人気だから。
	素晴らしい景色に心が癒されるし、散策道も有り、良い場所だと思います。
	見晴らし良し、ウォーキングもよし、静かでよい好きな場所
	風の電話
	頂上から見渡す風景はとても気持ちよく嫌なことを忘れ元気が出ます。

	癒される場所です。
	整備されている。見晴らしも良い。
	静かで気持ちの良い場所 癒されること間違いなし 縁結び岩 結びの電話が
	あり、皆々様に多く利用されてきた。この2つはとよた世間遺産に認定されて
	いる。
	頂上からの眺めが良いうえ、整備された遊歩道もあり、おすすめです。せっか
	くなので、山頂のWCを改築してあげてほしいです。
	見晴らしが良く、縁結びの岩があります。
	道が整備されていて、歩いて行くにも良く、上に行って、気持ちが良い。
	自然と景色良好。特に秋が良いです。
	パワースポットだから。まだまだ知らない人が多いから。
	すばらしい景色、自慢できます。
	矢作川を眼下に遠くの山々が見渡せ、非常に景色が良い。特に悩み事などがあ
	るとき、山頂から見える車の小ささ、その中の人間の小ささを見ると、こんな
	小さな人間の頭で悩んでもしょうがないと思える。
	自然や懐かしいと思えるものが好きだから。
⑧井熊神社の社叢	珍しい山野草が見られます。
9時瀬大イチョウ	県下一の大イチョウ、樹齢 400 年
⑩押井の磨崖仏	町内にあること。県内でも珍しいものであること。できれば定期的に市の方で
	管理をしていただければ。
② B & Gカヌー教室	ダム湖という自然の中でのカヌー教室は外にないため。
	せっかくの施設があるのに利用されているのが少ないから。
	なかなかそういう施設がないため、珍しく、体験が楽しかったため。
⑬旭地区総合体育館	いろいろなスポーツができる。
	使用しやすいから。
	スポーツを楽しむことができるから。
	大きいから。
⑭島崎広場テニスコ	コートがしっかり整備されているから
-ト	川が近くにあるため夏でもある程度涼しい。
	自転車の練習にいいです。川のそばのテニスコートで景観もいいです。
	料金が安い。河川敷も水浅のため、危険が少ない。
16島崎河川敷	小さい子が自転車などを練習するのに良いと思う。
②笹戸河川敷	川が綺麗だから。
	休みの日に孫と過ごすのに最適。自転車に乗ったり、サッカーをしたり、周り
	の花木を観察したり、夏には橋の下でバーベキューをしたり、とても助かる。
⑱池島河川敷	キャンプに適している。
	池島は昔は良かったのですが、今はキャンパーが多く、水難事故も多発してい
	るので、不安です。
	ちょっと違いますが池島の川敷でよく死亡者が出るがどうしたら防げるかを検
	討する。
	きれい、静か
9介木川	介木川の沢がミネアサヒを育てているから。
②旭高原元気村	涼しい。自然がたくさんある。
	遊具がたくさんある
1	

旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査 結果報告書 自然がいっぱいで広く遊べるから。 バーベキューができる。 日の出と星を見るのにおすすめ。 親子のコミュニケーションの場として!! 携わっていたから。 幼児から年寄りまで、楽しむことができる。 つつじ屋敷を大勢で利用させていただきとても気持ちよく過ごさせてもらいま レジャースポットが多くあり、子供たちに人気だから。 景色が素晴らしいから。 雪そりゲレンデや体験教室天体観測など旭の人も楽しめるし多くの来客対応が 可能な施設だから。 そり滑りなど子供も大人も楽しめる。 元気村より眺める山々の景色が綺麗で素晴らしい。 すばらしい場所。一人でも多くの方に利用してもらいたい。 自然の中で動物とふれ合い、施設も充実していて楽しく過ごせる。 ソリゲレンデが近くて安いお勧め。 観光施設として最初に思いつく場所のため。 自然豊かでゆっくり過ごせる。 施設が充実している。 景観の良さ 自然がある。 自然豊かで空気がおいしいところ。心が落ち着くから。 活用してください。 動物や自然と触れ合える 自然豊かで眺めが良い。 のんびり遊べる。 夏はキャンプ、冬は雪そりが楽しめ、観光客が年中楽しめる施設であり、地元 の特産品を提供できると良いと思います。 四季 動物やそりなど楽しめる。 施設、環境がほかの地区に比べ整備されているから。 メイン施設なのでますます充実させて観光客を呼び込んでもらいたい。 周囲の山々が一望できるから。 高台の景観と空気がきれいとのこと。 BBQ など楽しめる施設が多い。 お金がかからないし遊ぶ所がたくさんあるから。 季節ごとの景色が楽しめます。食事なども充実しています。年中を通し、訪れ てほしいです。 山の中でのバーベキューが楽しかったです。 山頂の風景が他とは違う。

子連れで行くのにおすすめ。長い滑り台、キッズルーム、レストラン、動物な

広いし、走り回れて子どもには嬉しい。

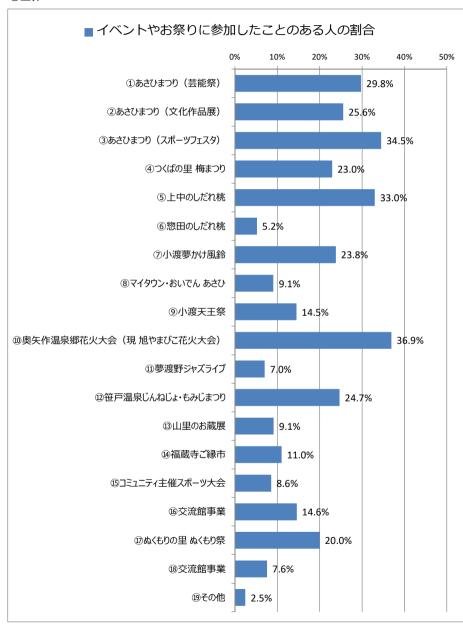
どなど人もすいているしのびのび過ごせる。 楽しめる場所がたくさんあるから。

	冬場のそりすべりは、お得感があります。
	家族で楽しめる設備がそろっている。
	自然がいっぱいで、動物とも触れ合える。
	施設が充実しており1日遊べるから。
	しっかりと整備されており、利用しやすい。
	季節ごとに楽しめる資源が整っており、自然が最大の魅力の旭でその自然を満
	喫できるのが旭高原かと思います。(BBQ、コテージ、湿地 etc.)
	子供も大人も楽しめる。食事もおいしい。
	子どもは喜びます。
	高原のすがすがしい空気を味わえる。
	自然多く旭高原イベントに参加し元気になる。
	高原の広々したところ、施設も多くある。
②少年自然の家	自然が豊かなところで泊まることができ星空もとてもきれいだから。
	ピザづくりやバーベキューをして様々な体験ができるから。
	子どもたちの育成
②つくラッセル	色々な自然を使った体験が出来るから
	僕が行った事のある学校の中で一番楽しい。
	自由に遊べるから。
	バスケや卓球で遊べるから。
	快適な環境だから。
	- ルー・ハン・・・ - 旭地区に新しく住み始めた方たちが頑張って活動している場所だから今後そう
	いう方が増えると良い。
	廃校の有効利用
	小グループの集まりに一休みに
	人が来るべき場所だから。集まるために作った施設だから。
	いろんな世代の人と交流できるため。
	いろいろなイベントを開催しているから。
	築羽地区だから。
	旧小学校跡地利用を知ってもらう。
 ☑ 老人憩いの家 あ	予約バスが利用できる。
さひ荘	湯質が大変良い。デマンドバスの利用増につながると良い。
2011	泉質がいいと思う。浴槽を改良して地域外の人を呼び込む。
	70 代ともなれば、温泉が一番休まります。豊田市民は 300 円で本当にリラッ
	クス出来、農作業のつかれもいやしてくれます。
	温泉の泉質が良いので、ぜひご利用を。
	湯質が良く安く利用できる。
	温泉の湯が良い
	近いから。
	泉質が良い。(証明書有。)
	最高のお風呂。ゆっくりできて心からリラックスできる。
	温泉通の穴場。
	ゆっくりくつろいで、地域の方、他から来られる方との交流ができる場所と思
	われます。心おきなく話し合えることは大切と思う。
	市の施設という事でお値打ちに良質の温泉に入ることができるため。

	ゆったりできる。
	お湯もいいし、1日ゆっくりできる場所にはあさひ荘はいいと思ったから。
②おど観光やな	る場でいて、エロック、グラミューの場ではありとり、江はいいことがある。
図のとまたしいる	おいしいアユ料理が食べられるから
	老人の方の働き場所で、お客様来てくれないと、老人の働き場がなくなる。
	豊かな自然や地域を活かした施設。
	夏バテに抜群の効果あります。鮎の塩焼き
	川遊びと味覚の両方が楽しめるので
	集客增加
	独自のアユの甘露煮で美味しかった。
	夏の名物を食べられるところだから。
	鮎料理は美味しいです。
	食事が美味しい。
	おいしいです。
②旭地区内での川遊	楽しいから!
び	夏に冷たくて気持ちいいから。
	「水の郷」と銘打っているので、釣りや水遊びなどに利用してほしい。ただし、
	危険な場所もあるので、注意が必要であるが・・・
	川の流れが緩やかで子供でも危なくない。
	外から来た人たちが川で遊んでいるのに町内の人はあまり遊ばない。
	田舎ならではのきれいな水を知ってほしい。
	悪い面も知って貰うためにも現在の川遊びが必要だと思います。河川環境悪い
	ですから。
	幼い頃から川や山に親しみ、楽しさや怖さを知ることが大切だと思うから。
	生活や暮らしに身近なところでの魅力を大切にしたい。
	川から離れることで、危険に対する行動もできなくなってくる。自然を楽しみ、
	親しみ、子どもの頃から体で覚えて行ってほしいから。
	保護者同士の交流にもなる。子どもたちも楽しんでいるため。
	子供が遊びやすい。
	大きな矢作川ではなく小さく安全に川遊びができる川がたくさんあるから。
	自然や懐かしいと思えるものが好きだから。
28旭地区内での山の	自然の山の中での散策。特に季節ごとの景色が素晴らしい。森林組合が山の間
散策	伐の森道、作業道の利用。(所有者許可)が良い。
	ハイキングコースを作ると良いと思います。
	日本らしい自然が残っているから。
	山に来たら山の散策でしょう。
	いい運動になりました。
	自然のすばらしさを若者は知らなくてはならないから。
❷その他	
笹戸の棚田の原風	四季折々の景観が楽しめる笹戸公園及び原風景、遊歩道を歩きながら穏やかな
景、笹戸公園一帯八	気持ちになれます。
イキング、笹戸鮎見	
橋でのスケッチ。	
加塩・榊野の温泉	ヌルヌルすべすべで、なかなか他県に行っても他にはない湯だから。

#### 問 12 最近 5年間で参加したことのあるイベントやお祭りは?

#### 1)全体



「その他」でご記入いただいたイベントやお祭り等

地元(鳥ノ巣)の祭り

旭の歴史を忘れない。

浅野の日。

浅野祭。

浅野の日。

町内でも知らない行ったことがないではつまらない。

高齢者

笹戸夏祭り、有馬の秋祭り

目の前で打ち上げ花火が見れる。

問19に記入しました。万町町のしだれ桃 榊野町のホタル

私は、『ぬくもりの里』にお世話になっております。とてもよいところです。

ASAHI OTONOWA UPPER STREAM (渓流荘)

高齢者を励ます会。

字の行事

つくば夏祭り 敷島夏祭り 敷島次世代育成部主催の「すこやか教室」、「自治区主催の自然観察会(北岡先生)町内のひな人形巡り 花火大会は行きたいけど小さい子連れでパパなし(消防)で行くにはハードル高く行けてません。花火が見える子連れの部屋があったら嬉しい。

万町のしだれ桃

いこまふるさとまつり

つくラッセルのイベント

盆踊り

福蔵寺ご縁市

つくば里梅まつり

お月見会 夢竹灯籠

敷島盆踊り

敷島盆踊り

家族が作品を出したため付き添いで。

ご縁市

小渡夢灯篭祭りと十五夜お月見会。夢渡野公園のしだれ桃。

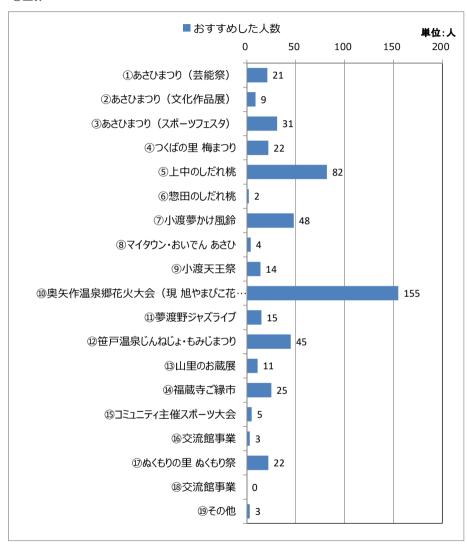
敷島盆踊り大会、5年連続係り手でした。

貸衣裳展示会。オーワ駅出陣式。いこまふるさとまつり。夢竹灯篭。蛍火(さかきの)。自治区夏まつり。

いこまふるさと祭り

### おすすめしたいイベント、お祭りとその理由

#### **①全体**



#### お勧めする理由

の割めする柱田	
①あさひまつり (芸能	楽しい事をしたいから。
祭)	安否確認。久しぶりに会えるから。
	楽しみを自分たちで作るお祭りを地域内の人と大切にしたい。
	様々な年齢層の人々の活躍を見られるから。
	旭にもこういう良いことがあることを知っていただきたい。
	やっぱり歌舞伎が見れることかな。
	楽しい雰囲気だから。
	旭中の生徒と一緒に行われるようになり活気が出てきた気がします。若い方たち
	にもどんどん参加してほしいと思います。
	昨年から旭中学校の文化祭が同時に行われ、普段知ることのなかった旭の中学生
	の活動様子を知ることができて良かったです。親近感、元気、希望等たくさんい
	ただきました。
	小さい子供がいても文化的な趣味を楽しめる生活ができることはすてきだと思
	う。
②あさひまつり (文化	作品が少ないので多くの方に出展してほしい。
作品展)	旭地区の歴史も再認識できるので。
	いろいろ楽しい作品がいっぱいあり、見るのが楽しみ。
	地域の人たちの頑張りを知ることができる。
③あさひまつり(スポ	運動不足の人にちょうどいい
ーツフェスタ)	いろいろな人と交流できるから
	旭地区民、全体で楽しくスポーツなどできていいと思うから。
	運動楽しい~!
	どの年代も楽しめる。
	スポーツで盛り上がっているから。
	競技を楽しむことができる。
	旭地域で最大の行事だから(最も人が集まる)
	各地区のつながり力が発揮されとても盛り上がって面白いから。
	めっちゃ楽しい。(走れるから)
	健康が一番。
	スポーツに親しみながら多くの人との交流ができる。
	地元の人同士の素晴らしい交流の場なので、住民みんなに参加してほしいです。
	(地域外の人にすすめるものではないと思いますが。)
	旭の全員が顔を合わせるいい機会。
	様々な方と交流できるから。
	スポーツフェスタへ参加してください。昔と比べ、寂しくなっています。盛り上
	げましょう。
	みんなが元気になる
④つくばの里 梅まつ	梅がきれいだし、毎年子供の人数が減っているから。
り	雰囲気がとても良いから。
	景色自然の良さ
	充実している。
	色々なイベントがあります。
	気持ちがなごむ。

27 / 52

	地域色豊かで春を味わえる。
⑤上中のしだれ桃	とてもきれいだから。
<b>多工中のしたれが</b>	きれいな山里
	とてもきれいで楽しめる場所です。
	景観が良い。
	きれいだから。
	美しい桃源郷と思えるから。
	山里の美しさ
	きれいな花のポスターを見て見に行きたいと思った。
	地元の方の協力もあり、きれいなしだれ桃がゆっくり鑑賞できるので。
	きれいだから
	ほかの地域にない(桜、梅等)から
	田舎の雰囲気を味わえる。
	整備がしてあってとてもきれいです。
	桃源郷のような空間は旭の中でも上中のしだれ桃が咲く春に見られる。絶景だと
	思います。
	今年4月14日すごい美しかった。 ボンネットバスもみんなに乗ってほしい。
	見事なしだれ桜の美しさに感動をしたからです。
	きれい。
	ばえる
⑥惣田のしだれ桃	豊田市だけでなく地域の方の努力をたくさんの人に見てほしい。
⑦小渡夢かけ風鈴	人がたくさん来るから。
W 3 // 2 / 3 V / JANED	小渡の町並みが楽しめる。
	暑い夏に涼しくてきれいな風鈴を見て、作れるから。
	風鈴の音形など様々な音色に安らぎを感じます。
	毎年新たな取り組みにて多くの人に風鈴見て楽しんでいただく。
	なかなか珍しいと思うし、季節を感じることができるから。
	楽しいから。
	とても音色がよく、見た目もきれいだから。
	インスタ映え
	一回はお寺さんにお参りをしながら風鈴を見てください。
	町の中を散策しながら地域の方と話ができること。
	成長するであろうイベントだと思う。
	テレビでも紹介されている。
⑧マイタウン・おいで	人がたくさん。
ん あさひ	7/3/E \ C/08
⑨小渡天王祭	足で歩いて美しい音を聞き身も心も健全に暮らしたい。
	伝統がある奇祭であるから
	松明を持って走るのは珍しいと思います。
	旭ならではの催しのため。
	たいまつが通る荒々しさにびっくりしました。
⑩奥矢作温泉郷花火	花火がとてもきれいだから
大会	花火がきれいだから
(現 旭やまびこ花火	花火がきれいで食べ物がたくさんある
	10, 00 - 1.00 - 10,000

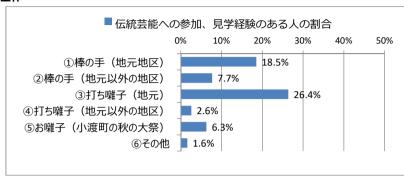
大会)	花火がきれい。
	花火がきれい
	花火がきれいだから
	すごいらしい。
	近くでゆっくり花火が見れるから。
	花火が綺麗
	花火がすごく近くで見れるのでいい。
	あれだけ近くで見られるのは、そうないと思うから。
	音が素晴らしい。
	迫力あるので
	金魚花火が良い。
	奥矢作温泉郷花火大会大変にぎわいます。
	山が近くにあり、川がありその花火の音が山に響く。素敵です。町では感じない
	感動です。
	迫力がある。
	山と山の間に響き渡る音を楽しんでもらえる。
	近くで花火が見れる。
	近いところで見ることができ迫力がある。
	大かがりではないが、山にあたってはね返ってくる花火の音のひびきを聞いてほ
	UN
	地域が一つになれる事業と思う
	遠くまで行かなくても十分花火を楽しむことができる。
	花火が素晴らしい。混んでない。
	家から近く行けるので安心。
	近くで見れてきれい。
	花火が目の前で見れる。他にはない近さで、とても良い。ただ交通の便が悪い。
	夏のイベントとして暑さを忘れられる。
	近くで花火が見られる。
	近い!
	立派な花火が上がるが、町中のように人が多くなく見やすい。毎年楽しみにして
	いるが今年は雨で残念だった。
	あの近さと音と山びこは他の花火大会では味わえないと実感したので、体感型の
	花火大会は魅力です。
	バスが出ているし、きれいだから。
	豊田市内では一番良い。素晴らしい。
	花火の醍醐味が味わえるのが旭の花火。(お腹に響く音) よその花火にない味があ
	ります。
	気持ちが晴れる
	花火を近くで見れるから。
	花火が見れる。
	花火は水面に映り、きれいでした。
	小さい花火大会(市や都市に比べたら)でも満足感がある。
	花火が近くで見られる。
	小さな町の小さな花火大会と思われている方が多いと思いますが、山に響き、川

	面に映る勇壮な花火を一度見てほしいです。
	山間部でやる花火としてはスケールの大きさに驚く。
	花火が大迫力
	山の中の花火はきれいです。
	花火はきれいです。
	花火が近くで見られます。
	花火がきれい(金魚花火など、川があるからこそできるような仕掛けは他にない
	ので良いと思う。)
	比較的近くで花火が上がるので臨場感があって良いと思います。
⑪夢渡野ジャズライ	自然の中の音楽。
ブ	雰囲気が良く本格的な音楽が楽しめるから。
	まだ自分は参加していませんが、とてもおしゃれな雰囲気が味わえそうで、勧め
	たい。
	山里でのライブは環境がよく、良いと思います。
	普段経験できない良い刺激が得られると思います。
	行ったことがないけれど一度行ってみたいと毎年思っている。
②笹戸温泉しねんじ	楽しいから
よ・もみじまつり	おいしいじねんじょがあるから
	スタンプラリーなどのイベントがたくさんあるから。
	旭の特産品を味わうことができる。
	11月下旬の紅葉の時期になると大勢の行楽客でにぎわいます。
	紅葉の時期になると大勢の行楽客でにぎわうから。
	当日しか食べられないものなどもあるから。
	地域の特産品としてお勧めしたい。
	笹戸温泉の PR を兼ねた祭りである。
	自然薯を使った食事や、ミネアサヒ米や地元野菜、あゆなどの販売。
	地元の特産品で美味しいから。
	自然薯は特産だから。
	紅葉がきれいなので。
	楽しめます。
	旭地区の玄関である笹戸自治区を盛りあげてください。
	旭地区の玄関口であること。
	自分の地域がにぎやかになるから。
	自分の住んでいる所の祭りなので。
⑬山里のお蔵展	地域の顔がたくさん見れる。
	ユニーク
	ユニークな取り組みだから。
	たくさんの方の手作りにびっくりします。すごいなと思います。
	自分が出店しているから。
	いろいろな作家さんの作品を見ることができたり、話が聞けたりで楽しいです。
⑭福蔵寺ご縁市	新しい発見や地域の特産物について、知れるから
	売りたいものを売ることができるし、おいしいものがいっぱいあるから。むかご
	ピザおいしかったです。
	地元、移住者、お客さんが交流できるから。
L	

	いろいろなお店が出店している。
	手づくり感が好きです。
	手作り感が温かく里山でのコミュニティ感が味わえる。
	町の方との交流を。
	町おこしとして見てほしいです。
	びっくりするイベントの集合体、知らなかった。
	交流、コラボ、伝統など多様性のあるイベントだから。
	地元人と、外からの方との交流が図れる。
	旭への移住を考えている人には、Iターン者と交流できる場だと思います。
	おもしろいから。
	子供も大人も楽しめる。
	旭地区外の人もたくさんきます。
	体に優しいこだわりのものがそろいます。
	のんびりとした雰囲気の中、それぞれの特技を披露して楽しめるので好きです。
⑮コミュニティ主催	たまに体を動かすと意外と楽しい。スポーツは交流への近道
スポーツ大会	
⑪ぬくもりの里 ぬく	子どもさんから高齢者、どんな人でも集まれる場所。
もり祭	とてもやさしくて、しんせつで、安心して行かれます。皆様もどうぞ。
	健康なうちにぬくもり祭に行かせてもらい、ここをすこしでも利用しなく、自立
	した生活をすることに目標をもってます。自己管理のためです。
	旭地区の福祉関係のいろいろを知ることができる。
	皆さんには全ておすすめしたいです。私自身が興味があります。
	楽しい場所があることを認識してほしい。
90その他	
万町長のしだれ桃	山間地域の活性化
神野町のホタル	
·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

#### 問 13 最近 5年間で参加または見学したことのある伝統芸能は?

#### ①全体

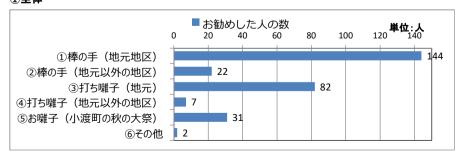


#### 「その他」でご記入いただいた伝統芸能等

受け入れる体制が不十分。
住統の昔ながらの響く音、何とも言えない。
地元のため
地元納涼祭 盆踊り
不便でどこもいけない。
なし 町ごとに違うの?同じなら町で一つずつじゃなくてもいいと思うのですが。
地元にない流派の演技が見られる。盛大である。
たくさんの方との交流ができること。
神明社みこし等保存会 鉄砲隊
小学生のこども棒の手。
足助祭り(各町内会が競って伝統を守っている。)
子ども達が楽しんでやってほしいね。
地元で年数回ある、お参りごと。
字のお祭り
子どもが出るので。

#### おすすめしたい伝統芸能とその理由

#### ①全体



33 / 52

#### お勧めする理由

①棒の手(地元地区) 地元だから

迫力がある

一生懸命やっているから。

1年生から覚えて、一生懸命やっているから。

かっこいいから。

いろんな種類があるから。

迫力満点だからです。

伝統のものだから。

昔からの伝統を青少年、子供たちに教え伝えてよその様子を見学しては。

気迫がこもってて素晴らしい。

残したい、見る人が多ければ残しやすい。

部落の行事をやって見えるのが楽しい。

迫力があって見ていて面白いから。

地元地区

伝承の大切さと特技になる。

棒の手は他地区でも取り組まれている。ワールドカップの豊田スタジアムでも演技されたのかなと思う。勇ましくかっこいい。継承が人口減少で大変と思うが、 頑張ってほしい。

100年以上続いている伝統芸能

とてもかっこいいと思ったので、ずっと続いてほしいです。

かっこいいから。

今では小学生まで棒の手を行っている時代、ぜひ見てください。

ここに住むまで知らなかった。

よく継承されている。地元の人の姿勢に触れてほしい。

ほかにないと思う。

伝統的なもので、代々受け継がれているから。

伝統芸能を楽しみ、そして継続を願っているから。

楽しそう

小学生が祭りや運動会で演じていて、素晴らしい伝統だと思いました。見られる 機会が少ないのが、もったいないです。

地元だから。

地域文化継承。

地元だけでなく、市内のイベントなどにも出演呼ばれたりするので。

地元に伝わる伝統芸能だから。

子どもたちが力いっぱい取り組んでいる姿を見ると感動する。

地元の伝統を知ることができるから。

地元の文化を知ることができるから。

地元の継続

子どもたちにも継承されていることを感じてほしい。

伝統を受け継ぐ人達の姿勢を見てもらいたい。

迫力があった、すごいです。(昔はもっとすごくて、ドキドキしましたが) 長い棒を使ったり、3人でしたり、いいですね。

棒の手に興味を持ってほしい。

	地元で伝統的で熱心に行っているから、立派だと思ったからです。
	珍しいので。
	これからも継承していただきたいです。
	伝承をお願いします。
	一度は見てもらいたい。
②棒の手(地元以外の	いろいろな地区伝統のものが見られる
地区)	かっこいいから
	かっこいいから。
	杉本のお祭りはお勧め。
	昔からの伝統的な芸能なのでお勧めします。
	昔からの伝統芸能なのでお勧めします。
	ずっと伝統が残っていて、すごいと思う。
	カッコイイ。
	迫力があります。
	うちの地区にはないが歴史ある棒の手は皆さんに知って貰いたい。
③打ち囃子(地元)	地元だから(上切)
	地元の行事を活発化したい。
	昔から続いているものを、継承していきたいと思う
	太鼓のリズムが心地よい。
	自分の子が出ているから。
	後生への伝承。
	伝統文化を若い世代に引き継いでもらいたいから。
	伝統を考えれば。
	祭りに参加することで地域の活性を知れる。
	子どもが太鼓をとても好きなので。練習で幅広い世代の方とかかわれるところも
	素敵です。
	世代を超えて、小さい子どもから高齢者までがやれること。関係性作りにも活か
	したい。
	地元ならではである。
	よそ者と一緒にやっています。
	無形文化財ではないが、なってもおかしくない。
	地元だから。
	従来からの後継者と新しい団地の人が一体となって打ち囃子や棒の手をしている
	姿をみてほしい。
	独特の打ち囃子
	地元の大人も子供も参加できる雰囲気が好き。
	太鼓と笛の音色はなかなか聞けないものだから。
	各地域の交流の機会の一つである。
	文化として興味深いが、市は無視しているで、滅びつつある。
	元気が出る。
	とても素晴らしい太鼓だと思います。
	地元に誇れる伝統芸能だから。
	同じ町内の歳の近い人に会う機会はこれだけ。
	余興団の頑張っている姿が良いから。
	ツングロップグアン こく・の 女名 はくい つじ

	地元の人たちの活気が見られるような気がします。
	これがきっかけになり、地区以外からの人と交流できたらな!(空き家に入って
	きた人々)
	各地区で打ち囃子のリズム、音色も異なるのでいろいろな地区の打ち囃子を聞い
	ていただきたいです。
	打ち囃子をする人がいなくなって、各地のお祭りは寂しい。町の方へ出た人に、
	故郷のお祭り帰郷(昔を偲んで打ち囃子で盛り上げてください。)
	地元地区のお祭りしか行ったことがありません。
	子どもが出るので。
	地元を元気にする
④打ち囃子(地元以外	丹波大垣内流の打ち囃子を知らない人がいるから。
の地区)	太鼓のひびきで、パワーをもらいます。70代の方も頑張ってみえること、家に帰
	ると心が軽くなった気がします。
	杉本神明社例大祭の打ち囃子は曲の美しさ等一見の価値あり
	旭以外の他の地域の年に1回の春祭りです。地域の人が今いる人員で無理なく楽
	しんでいる。外部の人も気さくに受け入れてくれる。ずっと参加したいと思える
	祭りなので。
	海外の方が喜びそうだから。
⑤お囃子(小渡町秋の	華やかできれいだから
大祭)	楽しくて着物を着る事が出来る
	やぐらがかっこいいから
	他の土地から来られた方も一緒に楽しみましょう。
	曲が素晴らしい。一度聞いてみてください。
	小渡町秋の大祭
	都会の立派な山車の中で鳴り響くお囃子と違い周りの方が見ながら聞いていただ
	くお囃子です。子供連れ(小中)女子が花車の上で叩いております。旭地区の中
	でも見たことがない人が多いのでは。
	小渡町の秋のお祭りは各班にてお囃子飾り祝う。
	子供の人数が減っているのでその他の地域でも参加できると良いと思います。
	幻想的な雰囲気を醸し出しているとても魅力的だと思うから。
⑥その他	
神明社みこし等保存	火縄銃は興奮する。
会 鉄砲隊	

35 / 52

#### 自由意見のまとめ

#### **問10 今後力を入れて取り組んでいくべきだと考える項目についての意見・提案(抜粋)**

いただいた意見・提案

楽しい森を走る遊び サーキットなど

間伐.

観光スポットの整備、森林を健全に保全する

手入れのしていない森を間伐してほしい

・若い人を増やす ・お年寄りが住みやすく

若い人を増やす

自然を守る。

地域の物をタピオ化させる。(タピオカブームのような流行り物にする。)

観光客を増やすために、ダメもとでパンフレットを作るべきだと思います。また、欧米人は自然が好きらしいので、パンフレットに載せていけばいいと思います。

生活用品がすぐ手に入るようにする事

つくラッセルを土日も使えるようにしてほしい。

棒の手、バスの路線拡張、城復元

バスを多くしてほしい。公園

観光地だけあっても活性化にはつながらないので「旭の巨木ツアー」などの企画や観光地周辺にお金を落とすしくみを作るなど、恒久的に活性化していく必要があると思いました。

観光スポットやイベントを増やしてほしい。

公園を増やしてほしい。コンビニも増やしてほしい。

®困ったときに助け合える近所付き合いの充実。高齢化に伴い相互が助け合うことが、非常に多くなる故に、一生懸命努力が必要と成す。お会いした時は必ず笑顔を交わす習慣にすることが、部落会の新しいつながりになると、感じている。

今何とて考えられないが、木が大きくなって陰になって困ります。

車がないと生活に支障が出る地域の為、まず道路の整備が必要と考える。

最近、倒木箇所が増えてきました。通学路にも将来的にも、利用する方も出てきていますので、道路際で長くなった木の伐採にも力を入れていただけたらと思います。

移住者の受け入れ体制をもっと整えてほしい。例えば空き家バンクをもっとPRして、人口の減少に歯止めのかかる体制をもっと考えてほしい。

携帯電話の電波を改善してほしい。基地局の増設、無いところに設置など。

空き家バンクの活用。自然を活用した行事や施設。

有機農業に特化した町づくり。(学校給食に取り入れてほしい・農家に勉強会など開催) 山村留学制度 や自然を生かした教育。

しだれ桃の観光客を他の場所でも見られる名所などをブチ廻り体験をする企画。浅野会館を利用し、しだれ桃期間中だけの食事処を設置。シャトルバス停留所にし、観光客を分散する。下切町の山散策ウォーキング。(森ノ入)※行政と協力しないとできないと思います。地元民だけでは、先導者がいない為、企画力に欠けると思います。自分たちの生活もありますから、きっかけがないと行動に移すことはありません。

高齢者が必要な医療を速やかに受けられる環境と、公共交通環境の整備。高齢者の免許にも影響がある II

何もありません。「中部電力揚水発電所、見学不可ですよ!調べてみりん。」

移住・定住者の受け入れ確保。そのためには、定住委員会を毎月実施し、それぞれの地域現状把握を、

しっかり現状を地域住民に伝えること。

空き家が増え、視界も悪い。獣の出入り、雑木・雑草にたまらない。高齢故、手は出せない。何とかしてほしい。

自動車免許証を返納した場合、旭地区内だけで生活に必要な物が手に入るか。(通販などを利用すれば、現状でもできるが) この先カード決済などが増えた場合、どれだけ旭地区の自営業の方が残っていけるか、心配です。

農作物を守るための対策。

鳥獣害対策。

森下医院を核とした医療機関の充実。歯科医院の誘致。

田畑を管理する、森林を管理する、今後の後継者。

私的事ですが、とても住みやすい所です。今は 10 年後、20 年後はどうだろう、我が家も含めて空き家は多くなるだろう、自然は大切にしたいなぁーと、漠然と思う。

子どもが楽しく安全に暮らせる地域。子どもの発達や興味、親心に応える教育、環境の整備(学習塾、スポーツ教室など)。田畑の健全な維持。

旭地区の人口を増やす若い人が帰ってくる故郷にしたいものです。働くところも少ないのが因であろう。

問 9 のすべての項目について力を入れて取り組んでいくべきだと思います。すべて重要度が高く緊急性があります。すべてにおいて人口減が根底にあります。定住移住の受け入れ程度では人口減に歯止めがかかりませんのでもっと何か良い方法があるといいと思うのですが何もないのが現状です。

交通が不便 買い物が不便 お役が多い。人口が少ないため一人一人の負担が多いなど田舎のデメリットが目立っていてますます過疎化が進むと思います。多すぎるお役の内容の見直しがまず必要だと思います。

年間の行事の中で非常ににぎやかになる (観光客の方に来ていただいている) 時期は夏祭りです。その中でも花火大会、風鈴祭りです。これを少しずつ充実していくと良いと思う。

高齢化、過疎化が進んで寂しいですが夏の風鈴祭り、天王祭り花火には多くの人が訪れにぎやかです。 夏だけでなく何か多くの人が訪れる行事がもう一つ欲しいと思います。

介木川を利用した川辺を散策できる遊歩道の整備

#### 人口の増加

この地区で生活用品が買い物ができれば?店が少ない。高齢になっても車運転しないと思うところに 行けないので白タクなどの利用ができれば高齢になっても運転しなくても良いが路線バスだけでは思 うようにいかない。

道路改修に取り組んでいない。

小渡は川が観光資源であるが川利用をすることで今以上に奥矢作川のイメージをあげるよう河川の改良をしてはどうかなと思います。「水の郷旭」に指定されている以上、川活用の行事を行うと良い。農協下の河川敷に沈下橋を建設を提案します。

移住者よりも地元の定着、帰納を重視すべきと考えます。

観光客リピーターを増やすための観光スポットの充実、特産品や軽食が常に提供できる仕組みづくり。 ゆくゆくは道の駅建設 矢作川の環境整備 川をきれいにする。

観光客が訪れるイベント、観光スポットをもう少し充実して客を呼べるように考える。

豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育保育環境向上、安心して暮らすことのできる環境整備安全対策をお願いします。

小渡自治区は山と川に囲まれた地域であり今後様々な災害が予測されます。大雨や川の近くの住宅の 安全性等はどうか?修理した方が良いところは修理できるようにしてもらえると良いと思います。

人口減少による過疎化を防ぐため移住者や定住者の受け入れは積極的に取り組むべきだと思います。

合併後の町内は寂しい限りこれ以上下がらないよう活性化に進むよう。 小渡自治区会館の設立(旭交

流館ではなく)。小渡自治区として作るべき(あるべき)と思う。改装を考えると良いではないか。 これから 4 人に 1 人ともいわれて 65 歳以上の高齢者が多くなる。障碍者、高齢者が安心して暮らせる地域づくり、高齢者が生まれ育ったところで暮らせる場所(市の行政にも関係ある)

幹線道路整備 矢作川の利用 森林の保全

移住、定住に向けた地域住民の意識向上 維持可能な地域コミュニティづくり

生活道路の通行止めを一日でも早く解消してほしい。

特産品の開発は旭の魅力につながるので旭ブランドがたくさんできると良い。旭は土石流など規制が多いため人離れが顕著荒れた土地が有効活用できるようになると良い。

隣近所が話ができる環境

高齢者へのデマンドバスの充実制度への取り組み 例) 自宅から目的地へ 目的地から自宅への送迎システム

自分の町内会では高齢未婚男性 2 名中年養子とり女性 2 名と未婚男女が多い。町内から定住ももちろん必要であるがこれらの未婚男女の婚活をしてほしい。地域会議で地域予算提案事業で行うのが良いのではないか。明智町などの市町は婚活をやっているようなので調査をしてみてはどうか。

山野動物たちが民家に降りてこないよう、森林の整備管理をしたほうが良いと思う。小渡から時瀬へ上がる参道に「生活道路」である表示を希望かなり暴走する車やバイクが多いので(ダンプも) 危ないため

防災と観光のための河川整備

安全な道路の確保(草、樹木、岩の排除)⇒送雷線の確保

全面的な道路の拡幅が時間がかかるならすれ違いのできるスペースをまず作ると良いと思う。

総花的(全世代対象)アンケートなので公平適格な回答は難しい。各世代の関心のあるテーマごとに回答を分類し分析を深めるべきだ。1人口維持(若い世代定住)が大切だが農林業は専業で若い人対象でなく会社や役所勤めを終了した年代が半病人的にやっている業種のようだ。若い世代が土日祝日百姓スタイルの問題点の分析、移住者退去例(失敗例)の分析、反省を進めるべきだ。

地域の活性化、特産物を PR する活動

旭でしかないものや体験できないことを集中し拡大充実させて特質ある街としたい。リニア中津川駅 との連絡道となるため県道の国道化を。

高齢者でも働ける仕事があれば張り合いがあるのでは?

通勤30分以内に、職場の確保

限界集落 自治区の有り方

町内会の終活は必要か。

①公共交通の充実…中山間地域の私たちにとって公共交通はとても重要な役割を担うと思います。特に高齢者や体の不自由な方にとっては不可欠です。そのためバスの本数を増やすことが一番大切と考えます。利用者は市街地よりは絶対少ないですが重要度は高いです。お金のことを考えるといけませんが中山間地支援は大切だと考えます。ぜひ県や市に問いかけてほしいです。②災害対策…南海トラフなど度重なる災害に備え人々の災害意識を変えることが大切だと思います。そのためハザードマップ、被害を抑えるワンポイントアドバイス等を定期的に配布してほしいです。③森林資源の有効活用…林業の発展をしてほしいです。日本は植林で針葉樹が多く生息しておりそれらが野放しにされています。そのため花粉症や地滑りの問題があると考えます。しかし法律により木が切れない場所があると聞きました。それらを改革していき森林環境に先進的な地域となってほしいです。

川に入るルールの作成や見回りの徹底。

若者の旭地区内からの流出が進行し歯止めがかからないのが現状であります。「若者が住み続けられる魅力あるまち旭」とは ビジョンが見えてこない。 若者によるビジョンの提案活動に積極的に取り組んでは?

教育の場から自然に触れあっていただきたいと思います。子供の時から自然に慣れておかないと事故

につながりますので。浅野地区には移住者が少なくもっと空き家を活用しないと文化の継承もないと なくなってしまいます。時間の問題です。

① 毎年のように人口が減少する地区をどうする。 ②農業従事者の減少をどう考えるか。 ③地区のいろいろな役をする人が高齢化によりなり手がいなくなることをどうする?

交通のありかた バスで外に出ても、よくわからない

矢作ダムの活用について

・知名度が低い。・豊田市内でも知らない人が多い。・土日曜日ダムサイド周辺に来場者多くあるが、飲食物の売り場1ヶ所もない(国定公園指定のため?)。・周遊コースで、マラソン等のイベントは?・トイレの見直し。

『集落の維持に必要な地域活動の充実』といっても、高齢化で過疎地になりつつあるなか、大変な思いをしながら行っている。草刈り·又営農など一抹の不安を感じます。

ここ数年、県道の草はのび放題。旭地区の矢作川の県道はまあまあですが、笹戸橋を渡り築平・川下・百月といった県道の両サイドは歩道もわからない状態。草がのび、反対車線にはみだし、とても危険です。 街の道路は整備されても、田舎の道路は最悪です。

通勤 (生活) 道路草で前方対向車が全く見えない。カーブミラーも苔で全く見えない。観光客増えても 道幅狭すぎる。しだれ桃の時期、緊急車両も通れない道。

中山間地の農業は70歳以上の高齢者ばかりで農業をやっている。政府は農地を荒らさないように進めているがもう2,3年のうちに農家は自生する状態ですがすでに農地は荒れ次第が増えているのが現状です。豊田市街はどんどん良くなっているが中山間の生活道路は草も伸び放題中山間地は見放された状態です。もう少し真剣に中山間のことは考えてください。獣の住処になっている。

県道に覆いかぶさった樹木の伐採 矢作ダム周辺の樹木、竹の伐採

誰もが住みやすい (楽しめる) 雰囲気づくり、例えばスポーツ以外のレクリエーション等を住民主導で起こしやすい雰囲気、予算上のバックアップ等

田んぼの後継者育成 空き家発掘

河川敷で遊ぶ際の安全確保、事故防止、池島の水難事故は毎年起きている。 改善するつもりがあるのか 不思議。

クルマが運転できなくなった人の買い物などの補助 災害が起きたときを考えて各戸に防災グッズや 食料等の配布(多分防災に備えての準備ができてない人が多いと思うのと高齢の方はしっかり準備で きてないと思うので各戸に配布する事業があっても良いかと。定期的に3年とか5年に一回など) 福 祉の充実、観光の強化

子供を安全に遊ばせてあげられる場が子育て支援センターしかない。公園があると入園前から社会性 の育成にもなるし親も同世代の保護者とコミュニケーションが取れると思う。

日常的に買い物に行ける公共交通機関の整備(少人数での移動ができる手軽な交通)

車に乗れなくなった場合に買い物に不便になるため公共の交通をお願いしたい。

高齢者が安心して暮らせる環境を実現する。

森林の手入れ(森林を手入れできなく手放したいがどうすればよいか。公共(県・市)が放棄された森林を買い取り管理されたら良い。)

広域農道が木が大きくなって狭くなってきた。木を切った方が良いと思う。

これから高齢化社会になっていくのに、全く病院に行ける公共交通環境が整っていない。1人暮らしの 方も多くなってくるので地域の人が見守りなど積極的にできるようになると良いと思う。

米作り

子育て環境。

今後、観光にも力を入れていくのであれば、主要道路の維持、管理、安全の確保が必要だと思う。カーブミラーの設置、管理など。特に小渡の三嶋商会前のT字路は、県道 19 号から 11 号に出る際、見にくく、危ないと感じることがあるので、信号の設置を検討して頂けると、より安全に観光客を呼べるの

ではないかと思う。

集落活動維持、継続、鳥獣対策、耕作地の維持、管理、対策。

今住んでいる人たちが、安心して暮らしているように、整備された道路、高齢者が多いので、個人個人 で農業を行っていくには、難しくなっているので、市や国などより考えてほしい。

高齢者の問題。

森林、草刈り(田畑)個人で維持は難しい 組織的取り組みが必要です。

若者が住める住宅用地の確保(法規制の緩和)=手続きのスピードアップ

- ・景観のために街路樹を植えるのは良いがそれよりも通行の妨げになる危険な道際の枯れ木を撤去することを優先してほしい(それに街路樹がある遠くの人口林は利用しづらくなるのでは?)
- ・子供が歩いていける範囲に友達(同世代)の家がないのでこども園や小学校の施設を保育時間外でも 使えたらいいと思う(夏季保育中とか)。敷島小学校の制服を自由制にしてほしい。ぼろいおさがりよ りきれいな私服にしたい。制服を買い替えるお金があったら遊園地に行きたい。
- ・地域のお役の数を減らしてほしい。(築羽自治区でも敷島の学区なので敷島の夏祭りなどに参加したい。敷島のお祭りにはこども園から中学校までの先生の協力があったので敷島中心にまとめれるところはまとめればと思います。)
- ・昔ながらの営みに魅力を感じていたがいざ暮らしてみるとお祭りの食事も既製品だったりで継承するほどでもないなと。
- ・空気がおいしいのが旭のいいところだと思います。観光に力を入れすぎてそれを失わないでほしい。 スーパーなどがないのでどうしても足助か豊田まで行かないといけない。個人商店は高いというイメ ージがある。

旭地区は殆ど急傾斜地でUターン者の新築ができない。私の息子もそんな理由で、他の地で家を建ててしまいました。今後は土地改良地でも簡単に許可すべき。

人口を増やすためとして、後継者や移住者が住みやすくなること。①住居を作りやすくする(法的な処置)。②地元で生活できる収入を得る場所を増やす。③老後も暮らせる環境。④子育てしやすい環境。 ⑤心安らぐ環境。

観光地が小渡・笹戸地区に集中しているため(比較的に)、他の山間部の地区にも観光できる場所がもっとできると良いと思います。

減農薬:虫・草を薬で殺せば、鳥・魚・獣にも害が及び人も苦しむ。農協がすすめるから使うという感覚を捨てるべき。脱資本(金銭)主義:金にならないことはやらないという考え方をしていては田舎は楽しくならない。

道路整備。最高速度 60km/h。市内まで 30 分以内、旭地区から通勤する者が増える。小渡幼稚園を小渡こども園に変更。 I ターン、Uターンの若い夫婦が増える。

移住者、定住者の受け入れで現在空き家バンクに入っていない家が放置されているケースもあるので、 そのような家を利用しやすくする。空き家で倒壊しそうな家は景観的にも、治安的にも早急に壊すなり の対応が必要。

不要な杉、ヒノキの全伐。・農地蘇生のため。・災害予防のため。・景観をよみがえらせるため。

- ・ 高校への通学無償化 (移住・定住を決める1つのポイントになるのでは)
- ・移住者の家賃無償化(無償化にすることで、地域活動や維持に積極的に参加できる)

移住者の受入体制

・道路整備を望みます。・治山工事(申請中)を望みます。・河川護岸工事を望みます(申請中)

環境問題 (除草剤や農薬による、川や虫などの自然環境への影響や、子どもたちの健康のこと) できることなら、給食をオーガニックなものに・・・地元産の食材の活用なども・・・

移住、定住の取組を予断なく進め、若い担い手を確保するとともに、安心して歳を重ねられる環境づくりに取り組みたい。旭地区で働けること、子どもがのびのび育つ支援をすること、空き家、住宅用地の確保、世代を超えて顔なじみの関係を維持すること、現場の声に応じた細やかな困りごと支援が大切だ

と思う。

観光に来てもらい移住環境を知ってもらう。短期型移住(1週間ぐらい)で住める家屋を用意する。東海自然遊歩道の整備。オートバイのイベント(ドライブラリー方式)

田へ水を取り込む用水路が老朽化していても、河川との関係で工事が進まないのは何とかしてほしい。 水が来なければ水稲はできない。

1 億円ふる里創生資金の時のアンケート。旭ではどう生かしたか?無駄に使っただけ。(1 部の人で)アンケート書かせても、生かさなければ意味ない。皆の頭の切り替えが1番必要。

企業誘致。働く場所があればそれなりに定住すると思う。

山林など、管理ができなくて、どうして良いか分からない。

旭に歯科医院がないため、訪問診療を足助で始めました。はつらつクラブで訪問したときに、壊れた義歯を使用している方がいたので、5年以内に旭でも訪問ができれば良いと思って働いていますが、どのようにみなさんに知ってもらえるか、が悩みです。足助HPで訪問をしているので、旭地区の方で入院している人の口腔管理を今後していきたいと思っている。

農業に対する支援。

子育てなど福祉に力を入れてほしい。

バス

交诵環境 (バス)

消防団活動を旭地区の住民の皆様にもっと理解して頂ける活動、取り組みに力を入れていきたいと思います。(本年度より9方面隊技術訓練競技会の開催)

急傾斜地や土砂災害危険区域で、建て替えのできない世帯が多くあるため、宅地の空き地バンクや宅地 造成の開発が進めば、定住したい人が増えると思います。

I ターン対策だけでなく、U ターン者(旭で育った子ども)の確保対策が必要。(新築の土地確保、税対策など。)

自然災害に対する安全対策を取り組んで行っていただきたい。急傾斜の山を背に建っている家が多く、 不安です。

公共交通環境の整備

旭地区の水難事故への対策

防犯カメラの設置

子供減少に全路線バス利用も良いかと思う。防犯灯がない。増加してほしい。決められた距離でもカーブがあれば暗い。

高齢者対策。

農地の保全

家を建て替えられるような用地の確保

地域の特性を生かした集客(夏の涼しさ、空気のおいしさ、名古屋からのほどよい遠さ)

「営農体制の維持などによる田畑の適切な管理」は耕作放棄地の拡大を防ぐためには必要なことではあるが、農業従事者が減少している現在、どのように維持していけばよいのか思いつかない。また、営農体制が米作りに偏っているのではないか。他の作物の生産も考え、高齢者の生きがいとなる農作業も検討した方が良いと思う。

近年の移住者の増加は限界集落の将来を懸念した努力が実を結んできてのことだと思う。子育て世代が入ってきて 5 年 10 年…今はまだ見えていないビジョンを今から描いていく必要があると思っています。

近年、イノシシやカラスなどが田畑を荒らすことが多い。自分の子供時代にはこんなに多くなかった。 人口減少、耕作地の放棄などいろいろな原因があると思うが超獣害を減らす方法を考えたい。せっか く、旭地区に住み土に親しめるので少しずつでも農作物を育てて暮らしたい。

多世代交流とお互い支えあうつながり作り

買い物に便利な商業施設がほしい。日用品、食料が手に入りにくい。高齢になった時不安。子育てする にあたって、夜間の病院が遠すぎることが不安なので、足助病院も夜間病棟の対象にしてほしい。

夜間運営している病院が遠すぎる。足助病院に夜間運営できる体制を。自治区に関係なく、旭地区に必要なことを考えるべき。病院もない、商業施設もない、では若い人は定住しない。

スーパーまたはコンビニ、ドラッグストアなど、1軒で良いのでオープンしてもらえると、普段の買い物が少し楽になり、安心すると思います。

田舎に住みたいと考えている人たちがすぐに家を建てられるように整備していると良いと思います。

今後、外国人労働者が生活圏に入ってくることが予想されるので生活文化の共有を心がける必要があると思う。

小さな催し物やイベント等でも、どんどんマスコミへ情報提供していくことによって観光客の増加を 図り、そのための諸施策を考案しながら、移住者の受入に波及させる。

若い人の増加および仕事有る場所に伴い、病院とかスーパー等の店が必要。

小さな子どもを連れて、気軽に遊びに行ける場所があると嬉しいです。

日用品を徒歩圏内で購入できる環境があれば、もう少し地域内でお金を使えるのに。多少高くてもいいので、雑貨屋さん(よろず屋)が復活したら嬉しい。子どもにも、地区内で買い物させたい。旭に住み、山で働き、そこで得たお金のほとんどを市街地で消費していることに違和感。町内の経済的な循環は、外貨(観光業 etc)獲得だけではなく、内的循環の活性化も重要だと思います。

杉本町内で新築希望ですが、宅地の「あて」がありません。定住委員さんなどがいらっしゃるのも承知していますが、なんだか腰が重くて。本気の定住希望者のための、気軽なイベントがあったら、とても嬉しいです。絶対参加します。

高齢者を在宅で支える仕組みを強化していくこと。今の介護サービスは縛りが多い気がします。ちょっとしたお手伝いを気軽に頼めるサービスや仕組みができたらな、ゆるく関わるサービス制度があったらな、と思います。

公園を作ってほしい。子どもを連れて保育園以外歩いて遊ぶところがない。住宅があるのに(市営) 普通に生活できれば良いです。いのしし、クマに困るのは普通の生活ではありません。観光は不要。

定住、一次産業

多様性を尊重する地域社会。同色に固めようとする田舎はおかしい。

田舎の暮らしが都会より素晴らしい、生活力がある、若い後継ぎが、安心し余裕を持って暮らせるよう・田んぼの米作り(利益がある)・山林・地元で、大きな会社を誘致し、若者が安心して生活して子どもを育てていける町づくりを望みます。

若者が旭地区から転出しないことが、人口減にならない。例えば豊田市への通勤の道路環境の整備。外部の人を旭地区への定住に力を入れ、人口を増やす。高齢化する農家の働き手、個々から共同作業への仲間作り、組合化。共同による大型機械の利用。農家の野菜作りが人生の長生きの秘訣。販売してお米にしよう。

人口減少に対応した地域の活性化。

道路整備と就労場所の確保

#### **業技害**機

高齢者になりますから運転ができなくなります。通院をするに定期バスを1日に2回以上ぐらい通るようにしてもらえないでしょうか。

家を建てられる制度が必要(住みたい人が住める環境が整っていない)

- ・農地を宅地化して、区画で売る
- ・空き家バンク、市営住宅、2戸2戸作戦の取組の拡充が必要。
- ・2戸2戸作戦は宅地化までの費用負担の軽減など、もう少し改良が必要。
- ・市営住宅は増やすべき。建てれば建てただけ住民が増える。

学校や保育園の遊具以外に、いつでも遊べる公園がほしい。保育園に行っていない時期に遊べる場所が

ないのと、ママ友との交流が少ないので、公園があると、ネットワークを作りやすい。

若い世代で、旭に住みたいけど住む所がないという意見をよく聞きます。I ターンやUターンで旭に来て、住む場所が確保されていればもっと人が増えると思う。

旭でいつまでも生活していくための日常の買い物、医療、福祉の確保。旭に住み続けるための家を建てるための土地の確保。

人口減に伴うお役の統廃合

連絡網のIT化(メール、SNSなど)高齢化へどう応じるか。

安心して食べられる「食」について、もうちょっと考えた方が良い。平気で除草剤や、化学肥料を使っている家庭菜園を見て、移住したばっかりは、びっくりした。農薬などの害についての知識がないのではと思う。地域ぐるみで、安心して食べられる「食」について取り組んだら、子育て世代の移住も増えると思う。まずは学校給食の改善から始めるべきだと思う。「食」をテーマにアプローチしている地域はたくさんある。

日本中人口が減る一方、町を少しずつでも明るい希望が持てるまちづくりにしたいと思う住民の考え 方が必要だと思う。

移住者、定住者の受け入れに力を入れているおかげで定住先になっていると思いますが・・・旭地区で 生まれ育った子どもたちが旭を離れて行ってしまう現状をもう少し見直していただきたい。

貞観杉の安全管理

十砂災害対策

県道・市道の草刈りで、70歳代は元気でも危ない。

今住んでいる地域を見ても 10~20 年先に何軒の家が残っていけるのだろうかとおそろしい状態です。 I ターン対策も大変良いことだと思いますが、Uターン対策をもっと力を入れるべきではと思います。 知恵と予算をぜひ投入し、考えてほしいです。

だいたいの問題は人が減っていくことから起因していると思うので「移住、定住」「帰ってきたくなる旭」に力を入れたい。

高齢者が安心して生活できる自治区に。交通弱者への支援体制作り。生活物資が容易に手に入る仕組み 作り

まちづくり基本理念、目標、将来像の実現のためであれば、地域力(世帯数、人口構成、自治区、町内会単位の組織力)(に応じて、広範な諸対策の推進で良いと思料する。

人の減少に対する地域組織の在り方(昔のままでは住民が大変すぎる)環境の維持もこの人数では毎週 末お役や会議になってしまう。

移住者や定住者の受け入れ、活用されていない家や田畑の貸し出しまたは販売

矢作川での事故が多発しているので管理注意をもっと広めた方が良い。自活協力の力が限界に思えます。

人そのものがいなくては全ての課題の対応が必要ではありません。人が住むため人を維持する施策に 重点を置いてください。

観光を利用した環境整備 災害に対する安全対策を急ぐ。移住者を受け入れ人を増やす。

遊具がある公園、もしくはこども園の開放をしてほしいです。子供たちが安心して遊べる場所が各地域 に必要だと思います。今後小さい子供の数を増やすなら特に集まりやすいようにしてほしいです。

通学バスの範囲拡大、道路の歩車道の区別、ガードレールの設置。大人が1時間かかる道程を、ガードレールも無い道を、子どもに歩かせるのは親としては許容できかねる。早急のガードレール設置、もしくは通学バスの利用を可能にしてもらいたい。

未成年が親の送迎無しでも通学可能な交通手段を整えないと、市街地や市外で働きながら子育てする 家庭が定住しづらい。旭は近所付き合いが盛んなほうだとは思うが、災害時など誰が誰を(高齢者・障がい者など)助けに行くのか決めておかないと、善意だけでは上手く機能しないと思う。観光客を呼ぶ ことより、住民が暮らしやすくすることを優先すべきだと思う。 高齢化による「住民の入れ替え」が起こると考えるが、その際の「人選」および「働けるシステム」づくりが重要。「個人私有制度」が、農地、林地荒廃の大きな要因。不在地主の責任を問う。私有という 聖域への切込みが必要。小渡のような「薄い観光」も良いが、それで恩恵を得るのは小渡、笹戸だけ。 押井のようなグリーンツーリズムを行政はもっと支援すべき。イベントは予算ばかりで効果薄い。

(小馬寺・しょうばじ) 観光に力を入れてほしい。小馬寺を開発してほしい。(旭で1番古い。) 必要な事があれば協力します。

「〇〇のお店をやる人」と限定して I ターン、Uターン募集。エビネの里入居全戸に草刈り機貸与。(町内、自治区の草刈りに出てこないのは、持っていないというのも、大きな理由かもしれない。) イベントごと、お役など、それぞれの役割や意義を洗い出して、整理、再編。

#### 防災。

池島の川の事故が多すぎる。川の駅をもっと活用すべき。川の遊び方や注意など、レクチャーできる人を常駐すべき。川で遊ぶときはライフジャケットを貸し出すなど、何かできるはず。そもそも川の駅は何の為? どんな利用ができるのか?

伝統文化の保存、継承が次世代にちゃんと引き継ぐことが可能か?現存会員の高齢化、会員の減少、今後やっていけるのか不安である。各地域で行う祭事を統一できるような動きも必要かなと考えます。

地域活動を通じて、年寄りも子どもも元気になる取り組みを、元気な年寄り(60~70代)が行っていけるとよい。

通行、通過する方が、休憩や農産物を気軽にできるスポットステーションがあるといい。

若い人の稼ぎ仕事、大学や行政にコネがないと最低時給に近い仕事しかない。田畑の維持といっても資本主義では赤字になり他で働く時間も削られてしまう。

#### 公共交诵をあち

移住者定住者を受け入れ環境整備をよくして一人でも多くの人が増えるようにしてほしい。自分の家 や土地は旭に住んでいなくても草刈りなどに来てやるようにしてください。また条例を作ってほしい。 定住したくなる魅力づくり。

予約バスの利用を豊田市内方面にも行けるように考えてほしい。(高齢になり、車の運転が心配になってくるから)

代々地元で生まれ、育っている多くの人が「町全体が自分(だけ)の庭」という感覚で「よそ者迫害」をいじめゲームのように楽しんだり、徹底した線引きを好む。この考え方を改める必要は大きい。

営農を始めようとする者に対する、農地の提供や作物の指導が受けられる制度、支援が必要と思う。移住者の中には、静かな暮らしを求める人もいれば、農作物を作りたい人もいる。人とのつながりは、何かきっかけがあると良いと思いました。

空き家、空き地 (耕作地他) の整備や管理。人を呼び込むことも大切だがまず身の回りの環境の整備をしっかり整えて、それから一歩一歩踏み出すことが必要に思われます。

#### 住民の高齢化に伴う、農地管理

就労事業所の誘致、安全安心な生活の場の造成、醸成を図る。

スポーツジムを地域に建てていただきたい。大型ショッピングモールが必要です。

自治区の役を減らしていくべき。現状の 1/3 以下くらい。市道管理も市に委託してほしい。力を抜く取り組みをしていただきたい。

山の手入れ、間伐は待ったなしの課題だと思うので、間伐ボランティアの方々にお願いするなどして、 どんどん間伐を進めていくと同時に、旭住民を対象とした、山の講座や体験事業などがあると良いと思 います。

取組項目は大事だと思うが、どのようにされているかがよくわからない。外で働いている世代は限られた中で地域活動するのも難しいため、ストレスを感じない程度に参加できるように、状況や時代に沿って内容を精査すべき。

地域行事、歴史も大切だが、その時代に合わせて行うべき。

I ターン者の受け入れが大切ですが、U ターン者が旭地区へ戻ってこれないのはなぜか。受け入れ態勢を重点的に考える必要があると思われる。住居の問題、生活(経済的)通勤等に。

社会的に公的サービスはあるが、民間サービスが少ない。民間サービスの受け入れは大切であると思います。

公共交通機関を改善して、楽に市街へ行けるようにしてほしい。

ほとんどの家が赤、または黄の表示区域である。数人の意見を聞くと、改善する意欲が伺えないし、私 自身も後継ぎがはっきりしてないので、金をかけてまでも改善する気がない。

以前は予約バスが午前中にも動いていた。今は午後だけなので、ぜひ8時から-12時までに。

高校生の通学、高齢者の足として公共交通機関の充実はしてほしい。日用品等の買い物ができる施設の 充実、定住者移住者が入ってきてくれるのはありがたいがしっかり地域の活動もやってくれる方に限ってほしい。

子育で特区 こども園の充実(時間、費用が掛からない) 通学費用の補助 市営住宅利用の補助(子供の八つ世帯は安くする。)定年退職者のUターンをすすめる(リフォーム時の補助)若い世代がだめなら、60すぎでも帰ってきてもらう。

若い世代の中でも勤務地が市街地などになるとどうしても旭を出ざるを得ない状況になってしまっているので(学生も同様)そういった若者が旭に帰ってこようと思えるようなイベントであったり集いの機会があればいいなと思います。イベントではなくても食事をしようと思って集まるだけでも十分きっかけの一つにはなるのかなと思います。

通信インフラの整備 (携帯電話各キャリアの充実) 池島河川敷の安全対策

少子化対策、森林資源の活用 農用地の維持対策

高齢になり、クルマの運転ができなくなった場合、病院買い物などに行けなくなる。バス停は歩いて30分ほどかかる。家まで来てくれるバス(小さいバス)を整備してほしい。田畑や山のぼたの草刈りができなくなってきた。草刈りをしてくれる人を紹介してほしい。

障がい者、高齢者だけの家族になったとき病院、買い物、理美容院、歯医者などへの足の確保を確実にできるようにお願いしたい。バス停は家から歩いて 2 0  $\sim$  3 0  $\circlearrowleft$ のところに有坂道なので使用不可と同じ。

防災など、基本的な項目に限定して実施すべき。

買い物、福祉関係。

中・長期を視野に、平穏な地域社会の維持のための各項目が基本と考えます。

地域の施設の再整備(有効利用)

池島の河川敷を使用禁止にしてください。もっと危険というアピールが必要かと思います。トイレ撤去や死亡事故があった新聞を大きく貼り出すなど。

旭の玄関口として、観光を利用し、来訪者が訪れるイベントや観光スポットを充実させる。川を活用した取り組みをする。

1、空き家対策。街の方には新しい家がどんどん建っています。家を造る人に一考してもらい、田舎暮らしをすすめる方策を。2、小渡幼稚園、小渡小学校は子どもが少なく、先行きどうしますか? 敷島小と統合などという事態にならないよう、学区に人口を増やし、子どもの数を増やしていきたいです。小渡学区の力量が問われます。

小渡こども園をずっと存続させてほしい。学区外の子が来れるようになると良い。

- 1、草刈りにかかる費用の補填。環境美化の観点より、普段やっている人に負担が大きくなってくる。
- 2、空き家バンクの見直し。結局は、移住者のすぐ横にもともと住む旭の人が一番つらい。かわいそう。
- 3、小渡・笹戸の商店街の今後
- ・地域の活性化
- ・定住者の増加と住民の旭離れの食い止め
- ・働く場所の確保

- ・旭の目玉になる物の開発
- ・予約バスを午前中に乗れたら、病院に早く行って、家にもおいでんバスより早く戻れるので乗る人が増えると思います。
- ・よく病院に行っておいでんバスに間に合わなくて、予約バスがあれば1時間待たなくても早く家に来れるのでいいのにと思うことがあります。

住みたい、暮らしたいと思える街づくり

- ・いつでも安心して利用できる医療機関の充実(特に整形、小児、内科)
- ・免許証を返納しても自由に地区外へ移動できる手段づくり
- ・収益の生まれる観光事業の見直し、無収益(低収益)を観光地の改廃

予約バスの時間を午前中にも乗れるようにしてもらえたらいいと思います。午前中に行きたいと思うときがあっても行けなかったり行きたいときにバスがない時があってそんな時に予約バスがあれば行けるのでぜひ考えてほしいです。

人は減っているのだから短絡的な取り組みや活動事業も新たに増やすのは止めてほしい。ただでさえ、 少ない家族や自分の時間が無くなるので。むしろ形式的なものは積極的に取りやめ、中、長期的なプランをじっくり練るべき。まずは自然への経緯を持った整備を。里山の在り方は自然に寄り添う姿です。 若者は一度は里を出るべき。また帰ってきたいと思える里とは何か。短絡的なものでは負担にしか感じません。

近くにコンビニ

企業取入れをし、人口増加を進める推進させる。

川での事故が多発しているので各河川敷で遊ぶ人への遊泳の注意(禁止)を強化する。

提案に対して地元のメンバーが参加できること 予算があり、業務またわくわく事業でできること 通疎集落に不足する人、物、金を作り出すとともに、豊かな自然や地域のつながりなどの強みを活かして、持続可能な地域づくりを目指していく必要があると思います。

公共交通、医療機関、商店など、地域に不足する生活機能を供給する仕組みの構築に向けた支援が必要だと思います。

集落が抱える問題(生活、生産、土地)を1つ1つ解決して、土地、人口の空洞化を止めるべきだと思います。

・就業場所の確保・医療・介護体制の充実・食料や薬品、生活雑貨等、必需品の購入できる商店等の充 実。

高齢者に対して、敬老会等「集まってください」を行っているようですが、障がい者に対しての取組は何もされていないように思われます。障がい者に知られては困るということもあるので「集まってください」はやりにくい面があるとは思いますが、自治区の役員さんは能力のある方がやってみえるのだから、地区にいる障がい者に対する支援というようなやりにくいところにもっと力を入れてほしいと思います。障がい者に対しての支援が何もないと感じています。

#### 問 14 自由記載欄(旭地区のまちづくりについてのご意見・ご提案)(抜粋)

いただいた意見・提案

森で遊ぶ。

若い人が多くなってほしい。

日用品のショップを増やす。

池島を安全にしてほしい。

もう少し地域バスのルールを改善して頂きたいです。休日は全日運行して頂きたいです。

すぐ物を購入できるようになってほしい。事故を減らしてほしい。

地域外から総合体育館を利用すると地域の人が借りれない。マナーを守ってほしい。守らないなら来なくていい。

個人的にとても良い流れで雰囲気も良い所だと思います。

レース場を作ってほしい。外国人観光客の憩いの場

イベント、行事など、チラシを配ってもらっても、なかなか出ない人が有り、一声かけ(一緒に行こう よ)と話すと、行ってもいいよとか、連れてってくれるなら、とかの返事があり、声掛けが大事じゃないかと思う。地域の交流が必要かな?

今年6月に移住しました。今後いろいろなイベント施設などに参加・見学したいと思います。

上中しだれ桃の駐車場係をしたときに、上に来るのに 2 時間もかかったと怒っている方がみえました。 上切の神社前に休耕田があるので整備して、遊歩道も整備して、歩いてきてもらうのは、お金がかかる から難しいでしょうか?

医療の充実と人口の流出に歯止めをかけてほしい。急務だと思います。

高齢化が進む旭地区で、今ある行事にプラスして、町づくりを行うことには、限りがあると思います。 コミュニティ会議主催事業+自治区主催事業+町づくり事業=旭地区人口に合っているでしょうか? やりたい思いは分かるがどこかにしわ寄せが来ているのでは?地区に住む人々の温度差を感じざるを得ない。

旭支所 2 Fが緊急避難所となっているが、エレベーターなし、階段スロープなし、障がい者・高齢者のための対応を。浅野会館は裏山が土砂崩れの恐れありで、緊急避難所になっていないが、山の高度はなく、土砂災害心配ないと思われる。山裾に、防砂提設置すれば良いが。毎月あさひの情報提供を「あさひげんき通信」で頂き、ありがとう。9月号のように、これからの地域行事計画を主体として頂き、開

人との出会いを作ってほしいと思います。年齢の制限無しで。

盆踊り大会を旭 1 つにまとめて、大きいの1つにして。浅野の日は飲みたい人達の集まりにしか見えない。やめてもらいたい。若い人間が少ないのに、スポーツ大会の種類が多すぎ。減らしてほしい。若い人達の移住定住を、拒んでしまう。

健康で年齢に合うようには、できないです。

催された情報に工夫を。

係の方の努力は分かりますけど、何分にも年齢が高くなると、無理になります。

小渡地区への商業施設集積。コメリの誘致。

魅力ある街づくりに道路が先決。働く場所を地元で土地がないのが難で上を見ればきりがないが旭の 魅力もある。

問題が多すぎて何をどこから手を付けたらよいか全くわかりません。

防災対策でヘリポートの整備、道路の改良を五年計画に入れてほしい。

子育てのしやすい環境整備 放課後保育の施設の整備(小渡小学校体育館でなく明るい場所で検討してはどうかな?)

土地柄かもしれないが他の所々でイベントをしているからそれを持つとまとめせめて一か月くらい続けたらよいと思う。同じ町に住んでいても行ったことがない見たことがないでは町内にいても知らないことが多い。

若者が住み続けられるということはもちろんですが、就職する年代になるとそれも困難となってきま

す。住んでいなくても若者が活躍できる街づくりを考える。大学生の受け入れや自分たちの子の受け入れも考えるようにしていくと良いかと思います。

旭に生まれて住んでよかったと思える街づくりを期待します。

年配になると車の運転が不可能となってくる。昔とは違い、高齢者のみの世帯が増えてくるため、必需 品の買い出し(食料品は当然含め)、病院については田舎に暮らすための最優先問題だと思います。

小渡町、万町町地区の地滑り現場の早急な復旧を望みます。

旭は現在5地区に分かれてそれぞれで活動しています。オール旭にならなければ発展はないと思います。 「旭の歴史、伝統、観光対象物件をよく分かっていない」ことが自分ながらこのアンケートで知った。 旭町役場の持っていた財産を洗い出してほしい。

旭をパッケージ化した観光コースを提案するべき。

池島河川敷遊泳禁止を徹底してほしい。遊泳してる人は自己責任、人の手を煩わすな。

PR 活動をお願いします。大学生を活用するシステム作りをお願いします。

旭地区の皆さんに知って貰いたい。

周辺の稲武小原足助藤岡はイベントなど活性化しているが、旭地区はいまいち。

小渡杉本同じこども園なのに保育時間が違うのはとても違和感を感じます。

地域会議が停滞気味だと耳にしましたが大丈夫ですか?

ここ数年私が暮らしている地域でもそうですがそれ以上に地区内を回っていると田畑が雑草が繁り残 念に思います。

I ターン家族、もっと地区の行事に参加すべきです。地区の草刈りや、販売所への協力を若い世代が何かの形で参加することは大切と思います。事務的な上の行動が先走りして、自分の家の前の県道の草刈りや歩道を、自主的にきれいにすれば、お役ももっとスムーズにいくと思います。

回答が選択式のものが多いので皆がどう思っているか伝わりにくい部分があると思いました。大人だけでなく子供たちにもアンケートを取ると良いと思います。

今後 10 年のまちづくりに関することならば 15 歳以下や 12~20 歳など若い人たちの意見をもっと積極的に聞くことが重要ではないでしょうか。

地域の活性化、若い人の住めるまちは何をどうしたらできるのかと日々思ってますが何をどうすればよいのか具体的な行動ができないことを歯がゆく思ってます。

人の集まる場所づくり。買い物のできる人々の出会いの場。

住みよい旭、おもしろい旭、大好きです。田んぼと畑が日々のはりあいです。ありがとう。

若い世代の人が、地元に戻ろうと思ったが、実家などの土地が土砂災害警戒区域で、戻ってくるのを断念した、という話を聞くので、(家が建てられず) 旭地区内に市営住宅や賃貸住宅で、若い人が戻ってきやすい物件が増えるといいなと思います。

もっと働く場所がほしい。

旦那が子供の頃はまだ同級生も町内にいたらしい。その人たちはどうして旭で住み続けることができなかったのか。今の中学生は卒業後の進路をどうするのか? (親が町まで送迎?) このアンケートの対象じゃない U15 と転出者の意見も聞いてみたい。

引き続き、旭地区のまちづくりに参加できるよう、継続した活動をお願いします。

今頑張って行事、催事を行ってくださっておられ嬉しく思います。ありがとうございます。

なるようにしかならないが、未来のためにやるしかない。

高校への通学費の無償化・敷島小学校の制服の廃止 (高額なため)・移住者への家賃無償化

何かの行事やイベントなどで旭に人を集めようと考えるのではなく、各家の子どもたちが帰ってきて 生活できるような、仕事があることや、高齢者が不自由なく医者に通えることや、食べることに困らな いなど、基本的なところに目を向け、最後まで安心して過ごせる地域になったらいいなと思います。

94歳になり、なかなか外に出ることがないので、あまり地域のことは知らないことが多くなりました。 旭は本当に素敵なところなので、私自身ももっと暮らしを楽しみ、いろんな方と出会い、もっともっと 素敵な所になるお手伝いができたら嬉しいです。

柔軟性と実効性を持ったまちづくり活動が活発になる計画の立て方、組織の作り方などをぜひ探求してほしい。

ウォーキングラリーができる拠点づくり。

農地の保全が重要だと思う。

山林の手入れに力を入れていただきたい。持ち主の方が市外、県外の方もいらっしゃると思います。 年々成長する木で日照時間も短くなっていると思います。

交诵の充実。

100年以上続く伝統芸能。

地元の若い後継者が近隣の都市部に出て言って家を建てないような施策が必要。人口が減るからと外からの移住ばかり好条件を付与しての考え方は今後少し修正してほしい。

高齢者にとっての生きがいが見いだせない人は、自分の家の管理と地域行事への参加で1年を終える こととなるので、高齢者の自分の生きがいを見出す方策を教えてほしい。

スポーツ大会の自主グループ化による廃止・縮小。

いろいろな人々が地域のため過疎地再生のため様々な取り組みをされていて素晴らしい地区だと思います。様々な観光に頼らない自然と共存した当地区オリジナルなまちづくりであってほしいと思っています。

この九月から本格的に居住するようになりました。地域になじみ根付く役に立てるよう考えていきたい。

空き家をもっと減らすべき。子どもの友達が少なくてかわいそう。小渡小と敷島小を合併すべき。

家を建てる土地がない。公園がない。買い物をする所がほしい。

遊旦のある公園がほしいです。

防災上の森林の管理、南海地震が来ても支援ができる体制作り。

たくさんのことにとても皆さんが協力していて、とてもいい地区だと思います。

大勢の人たちが集まることで、何か良いことを得ると信じます。

「道の駅」の設置を検討する。特産物を拾い出し、産業化する。それらは一括「道の駅」で販売する。 (できれば敷島地区内へ)

集落の維持について。人口、平均年齢を考慮し、町内会の事業を減らしていくべき。町費の負担大。

十岐足助緑道路の整備。

いなかなりに活性化につながる交流など。

一村一品運動を書く町内会で立ち上げて、それを核として旭全体のまちづくりに発展させる。

今後も、旭地区外から来た人でも温かく受け入れてくれる地域であり続けてほしいです。

33歳の4人世帯です。名古屋から越してきて6年。「エコでロハスな生活」に特別こだわるわけではありません。多分、普通の感覚です。普通の暮らしを、旭で営みたい。このようなよそ者の意見、目線が必要であれば、いつでもお声かけください。何かお役に立てれば、と思います。

池島で毎年起きている川の事故。それに出動する消防団の負担。休日が多いので休日立入禁止にするのも案ではないかと思います。お年寄りの野焼きに不安を感じます。だけど地域で生活しているとみんな言えない。

杉本から小渡に下りていく細い道を広くしてほしい。草を刈ってほしい。

普通でいいです。

外から来た方たちの受け入れに力を入れて歓迎すると良いかもです。

スケールとスピードを求めず、旭の良いところを少しずつ伸ばす。

合併して活気が低下した気がする。

町内の転居で空き家になった住宅への町外者の移住をスムーズにできるようする。

家が建てられれば帰ってきたいと思う子どもがいるはずです。杉本住宅のような宅地がもっとあれば と思います。移住する人だけを頼るのではなく、わが町で育った子どもたちがかえってきやすいような 環境を整えること(道路の整備も含め)を進めてほしい。

敷島自治区が取り組んだように、旭地区が一体となって活性化に取り組んでほしい。

近隣のまちづくりから、旭は遅れていると思う。もっと住民の協力体制を呼びかけた方が良い。

奥矢作温泉郷花火大会 中止ではなく、日時を改めてやってほしかった。

伝統芸能の棒の手・打ち囃子も、メンバーの超高齢化で限界。練習もつらい。

人がいてこそのまちづくりなので若者が住み続けるには仕事が必要。旭に住みながら仕事はトヨタという形にならざるを得ないのでは?そのためには道路の整備が必要では?通勤が楽になれば地元に住もうという考えも出てくるのではないか。

田舎に住みたい人をどんどん募集してほしい。

関心が薄れてきており流れに身を任せたりそんな感じです。

高齢化が進み、若い人は町外に出てしまい自治会の参加や意識のうすれを危惧しています。活動の広め 方を再考してはと思います。

IU ターン者の増加に伴う彼らの意見を反映したまちづくり。

観光地より住まい環境をよくすれば定住者がもっと増えると思います。若い世代なら子供のことをもっと考えてほしいです。

マイタウンおいでんは豊田セントリックで、地元住民のものでない。 違和感がある。 互助慣行に関しては行政の仕掛けるものではない。

全住民誰でも言いたいときに意見を言える仕組みがあると良い。(インターネット、紙、意見交換の場など。フィードバックまでを仕組みとする。)

いつも地域の方が親切にしてくださって、とても住みやすい町だと思います。ありがとうございます。すごく住みやすいです。いつもありがとうございます。

旭の中にいても、旭の中のことがあまり分からない、知らないが多々あります。

今の中年の方にも、行事に参加してほしい。(特に女性方)

自治区や町内会の合同会議で、それぞれの特徴を話し合う機会を作る。

10年後、現在お世話になっている年配の方を思うと、どうなるのか不安はある。

住民が全員楽しめるイベント作り。

人口減少・過疎化・少子高齢化・後継者不足・空き家・・様々な問題が山積みです。なかなか厳しい状況だとは思いますが、想いを持っている人たちが集まって、少しずつ問題が解決できたらいいですね。

スポーツ施設を求めています。

町内で安心してウォーキング等のできる場所の案内、など

まちの景観維持は非常に大事だと思います。足助や稲武には商店街や道の駅が充実しているので、間に ある旭にも充実してほしい(食事できる、ドッグラン、など)

ドッグラン (大型犬でも走れる広い場所)、そこに食事ができる場所、キャンプができるなど、街中から来て魅力のある所があったら良い。食事は地元の高齢者が作る。

伝統を継承していくことも大事であるが、明らかに若者が減っている中で、今までと同じように続けていくことは難しい。やり方を変えていくことも必要。

旭地区を軽井沢のようなオシャレな町にしたい。名古屋などから近い避暑地として、宿泊と遊べるところとあったら最高です。

旭地区に住んで生活できる保証ができる仕組みが必要と思う。

集落で行うお祭りや盆踊り、小さな行事も大切に続けていけるようにしたいですね。

私自身、もう少し積極的にいろいろなイベントに参加したいと思いました。

美しい街づくり(市道の草刈り)

旭地区の魅力を地域外の方々に知って貰うことも重要だと思いますが、まずは旭に暮らす住民がその 魅力に気づき旭にあるものをどう磨いていくか魅力を伝えていけるかが重要かなと思います。 現行計画の総括ができていないのに次計画のアンケートは時間的ずれと建前的で現実味がない。地域の環境の中で一番不足しているのは若者の働く場、チャンスがない事。これを解決すれば活性化の80%は達成できる。

今年は旭やまびこ花火大会が中止で孫たちも私も残念でした。来年を楽しみにしております。

お役が毎月 $1\sim2$ 回あるので体がきつい。夫がいない人や病気の人は妻がすべて出るのできつい。思いやりを持ってほしい。大人4人が健康な家族と1人がすべて出るでは体力のきつさが違う。仕事もし、家のことも大変。

町内会や自治区の活動は、大切に引き継いでいきたいです。旭地区全体の行事(ソフトボール、レクバレー大会など)が多いので、減らしてほしいです。お役や行事、仕事、消防が重なると、子どもの預け 先を探すのに苦労します。

様々な団体、組織で同じようなことを重複して行っている。イベントなども多すぎる。旭地区ではなく、 町内会、自治区単位での生活に重点が置かれると良い。(例) 地域のお役。〇 コミュニティ行事、×。

廃案にすべき取り組みもアンケート等を利用し、検討すべき。もともと住み暮らす人を不幸にしてまで やるべきことなのかどうか。

旭地区にも上中のしだれ桃、夢かけ風鈴でたくさんの方が訪れてきてくださいます。道の駅ならず川の 駅のような施設はできないでしょうか。旭には手に職を持っている人が大勢いるような気がします。足 湯もその傍らにあってもいいような気がします。温泉の地ですから。

新住民を大事にすることは大切ですけど、今住んでいる人を置き去りにしないように。

新しい「まちづくり計画」の策定、大変でご苦労様でございます。現行の「まちづくり計画」が10年で終わるわけですが、この10年の総括をぜひ行ったうえで、新しく取り組んでください(すでに実行されていたらごめんなさい)。現行のものですが、自治区、町内会では忘れられていて、また、町内会長が毎年変わることもあり、話題にも上りません。各地域選出の委員と、自治区長、町内会長と常に連絡を取り合って、毎年地域の全員が念頭に置いた取組をしないと、計画は計画で終わってしまいます。この実態を踏まえ、新しい計画とその実践をよろしくお願いします。

適正な森づくりをして、獣害を減らし、豊田市のロールモデル地区となってほしい。

旭は平面的に見えることに力を入れているが(各種イベント、行事等)、高い所から街中、農村風景を 見渡せる休憩所の整備と宣伝、特に榊野の橋から見る榊野町は素晴らしい景色(田園風景)。旭高原か ら矢作ダムが木の成長で見られなくなったのは残念。何とかならないか?その他私の知らないたくさ んの場所があると思う。広く皆さんの意見を聞けば、もっとたくさんあると思う。

予約バスをもっと乗れるようにしてほしいです。

全国の良き田舎、全世界の誇りある否かをよくよく観察し、自分の住む田舎を見てほしい。本でも映像でも。 企業の取入れ、活性化を図る。 加地区の目玉を作る。

旭地区で若い人、老人、青年、現在の在住している人にてそれぞれの意見を聞いて「できることから計画実行」はどうでしょうか?

空き家をリフォームして、インターネット環境を整えて、IT企業を誘致する。優遇措置として、定住を条件に法人税を数年間免除する。

他府県で実施されたまちづくりの成功例を参考にして、良いと思う案を取り入れれば、安定したまちづくりができると思います。

過疎地域でも成り立つ産業の創出を支援する必要があると思います。

旭地区内にホームセンターがあるといろいろと便利で嬉しい。

次世代の人達が続けて暮らして行けるように、荒れ放題の山・森林の整備に力を入れてほしい。

家の周りの土地が荒れ放題だとその先に行けないし、見ていて気分が悪いのできれいにしたいけど人の土地なので何もできないのが困る。

## アンケート調査票

旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査票 旭地区のまちづくりについて、あなたのご意見を聴かせてください!! 11 旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査 日ごろから地域のまちづくりにご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。 さて、平成23年に旭のまちづくりの『道しるべ』として策定、運用してきました、 「旭地区まちづくり計画」が令和3年3月末で終了します。 地域会議では、今年度当初から「まちづくり計画」についての協議を始めました。 協議の結果、旭地区の今後10年間のまちづくりについて、その方向性を皆で共有し、オール旭で取り組 んでいくためにも次期まちづくり計画が必要であると結論しました。 そこで、次期まちづくり計画策定にあたり、皆様の意見やアイデアを参考にさせていただきたいので、アン ケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いします。 令和元年9月 旭地域会議 会長 三島 利彦 ■現行の旭地区まちづくり計画 【将来まちづくり構想(旭ビジョン)】 ・まちづくり基本理念 ※まちづくりを進めるためにみんなで共有する基本的な考え方 旭地区まちづくり計画 まちつく 美しい山河と地域の絆 結いの心が通い合う 水の郷 旭 目標将来像 ※目標はする将来の地地区の姿 「若者が住み続けられる魅力のあるまち 旭」 「地域が助け合い安心して暮らせるまち 旭」 5か年計画 (第1期・第2期 「離れが訪れたくなる美しい山里 旭」

[調査の取扱いについて] 調査結果は数字で統計的に処理します。調査目的以外に使用することはありません。 [調査の対象] 1 地地域に住む15歳(平成31年4月1日現在)以上の方(義務教育を終えた方)、全員

を対象にしております を対謝しております。 「贈者皇の居権からのご意見をいただいて、今後の地域課題に取り組んでおいりたいと思いますので、 たいへお手数をおがり止ますが、ぜひとも調査にて協力をお願いいでします。 こ で記入後は、顕合票の入っていた封祠に入れ町内会の指示に従ってご提出がたさい。 ○町内会長さんから ⇒ 区長さんへは、10月の各自治区の役員会の開か、それまでにお遠しください。

【5か年計画】分野別の具体的な取組み内容をまとめた計画 【集落ビジョン】35の集落ごとに取り組む内容をまとめた計画

旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査票

#### ○あなた(回答者)自身のことについてお聞きします。

#### あてはまる番号に〇を付けてください。

問1	あなたの性別は?	1. 男 2. 女性
問 2	あなたの年齢は? (平成31年4月1日時点)	1. 15~18歳 2. 19~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳 5. 50~59歳 6. 60~64歳 7. 65~69歳 8. 70~74歳 9. 75歳以上
問3	あなたのお住まいの地区 (自治区)は?	1. 浅野自治区 2. 小渡自治区 3. 笹戸自治区 4. 敷島自治区 5. 築羽自治区
問4	あなたの出生地(お生まれ)は?	1. 旭地区内 2. 豊田市内(旭地区を除く) 3. 豊田市外
問5	あなたの家族構成は?	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子 (2世代) 4. 親・子・孫 (3世代) 5. その他 ( )
問6	あなたの職業は?	暦林漁業     会社員、公務員、教員、団体職員など勤め人     会営業・家族従業 4.パートタイマー・アルバイト     5、学生 6.専業主婦(夫) 7.無職     その他()
問7	問6で1~5に○をつけた 方にお聞きします。あなた の勤務地(通学地)は?	1. 旭地区内 2. 豊田市内 (旭地区を除く) 3. 豊田市外

#### ※差し支えなければお名前と電話番号をご記入下さい。ご意見をお聞きしたい場合などに使わさせ ていただきます。

(氏名)	(電話番号)
(氏名)	(電話番号)

2/6

畑地区のまらづくりを考えるアンケート調査票

#### 1 旭地区のまちづくり全般についてお聞きします。

#### 間8 現在の生活環境について伺います

	8生活の満足度について、ご自身の感覚で結構ですので、 いっちの中からそれぞれ「あてはまる番号一つに○を」つけてください。	満足		普通		不満	わからない
(I)	子育て、保育のしやすい環境、雰囲気がつくられている	5	4	3	2	1	0
2	移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	5	4	3	2	1	0
(3)	家を建て(替え)る予定があるし、場所も確保できる	5	4	3	2	1	0
4	公園やスポーツ施設が安全に利用できる	5	4	3	2	1	0
(3)	必要なものが身近で購入できる	5	4	3	2	1	0
6	幹線道路や生活道路が安心・安全に通行できる	5	4	3	2	1	0
7	通勤や通学に必要な公共交通環境が整っている	5	4	3	2	1	0
(8)	困ったときに助け合える近所付き合いが行われている	5	4	3	2	1	0
(9)	町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
(10)	集落の維持に必要な地域活動が行われている	5	4	3	2	1	0
1	地域の課題解決等に必要な団体活動を行うことができる	5	4	3	2	1	0
Œ	高齢者や子どもを地域で支えている	5	4	3	2	1	0
(13)	洪水・土砂災害などの災害に対する安全性が保たれている	5	4	3	2	1	0
Œ	自主防犯活動が充実している	5	4	3	2	1	0
(B)	治安がよく、犯罪や事故に対する安全性が保たれている	5	4	3	2	1	0
(16)	体力維持や病気予防のための取組などが充実している	5	4	3	2	1	0
Ø	必要な医療・福祉サービスが確保されている	5	4	3	2	1	0
(B)	高齢者が安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	0
(19)	障がい者が安心して自分らしく暮らすことができる	5	4	3	2	1	0
20	伝統文化や祭りなどの地域文化の保存、継承ができている	5	4	3	2	1	0
20	豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境がある	5	4	3	2	1	0
2	知識や技術を継承するのに必要な世代間交流が行われている	5	4	3	2	1	0
23	来訪者に地域の素材を活かした特産品がいつでも提供できる	5	4	3	2	1	0
29	観光客が訪れるイベント、観光スポットが充実している	5	4	3	2	1	0
8	営農体制の維持などにより、田畑が適切に維持管理されている	5	4	3	2	1	0
26	集落活動などにより、美しい農村景観が守られている	5	4	3	2	1	0
20	農作物等を守るために必要な鳥獣書対策が進んでいる	5	4	3	2	1	0
8	森林が健全に保全され、森林資源が有効活用されている	5	4	3	2	1	0
29	「水の郷 旭」にふさわしい川を活用した取組が進んでいる	5	4	3	2	1	0

畑地区のまらづくりを考えるアンケート調査票

#### 問9 今後、力を入れて取り組んでい行くべきだと考える項目について伺います。

			取	組みの	重動	夏夏	
200	るの取組みの重要度について、 <b>ご自身の感覚で結構ですので</b> 、 √5の中からそれぞれ「あてはまる番号ーつに⊖を]つけてください。	高い		普通		低い	れカらなし
(I)	子育て、保育のしやすい環境づくり	5	4	3	2	1	0
2	移住者、定住者の受け入れ	5	4	3	2	1	C
3	家を建て(替え)られる用地の確保など環境の整備	5	4	3	2	1	С
<b>(4)</b>	公園やスポーツ施設の整備	5	4	3	2	1	C
(5)	日用品の買い物環境の整備	5	4	3	2	1	(
6	幹線道路や生活道路も整備	5	4	3	2	1	0
(7)	通勤や通学に必要な公共交通環境の整備	5	4	3	2	1	C
(8)	困ったときに助け合える近所付き合いの充実	5	4	3	2	1	0
(9)	町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組む	5	4	3	2	1	(
(10)	集落の維持に必要な地域活動も充実	5	4	3	2	1	(
Ü	地域の課題解決等に必要な団体活動の充実	5	4	3	2	1	0
(12)	高齢者や子どもを地域で支えている	5	4	3	2	1	(
(13)	洪水・土砂災害などの災害に対する安全対策	5	4	3	2	1	(
(14)	自主防犯活動の充実	5	4	3	2	1	(
(15)	観光を利用した環境整備	5	4	3	2	1	(
(16)	体力維持や病気予防のための取組みの充実	5	4	3	2	1	(
(17)	必要な医療・福祉サービスが確保	5	4	3	2	1	(
(18)	高齢者が安心して暮らすことができる環境整備	5	4	3	2	1	(
(19)	障がい者が安心して自分らしく暮らすことができる環境整備	5	4	3	2	1	(
20	伝統文化や祭りなどの地域文化の保存、継承	5	4	3	2	1	(
21	豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境	5	4	3	2	1	(
22	知識や技術を継承するのに必要な世代間交流	5	4	3	2	1	(
23	来訪者に地域の素材を活かした特産品の開発	5	4	3	2	1	(
20	観光客が訪れるイベント、観光スポットの充実	5	4	3	2	1	(
â	営農体制の維持などによる、田畑の適切な管理	5	4	3	2	1	C
8	集落活動などによる、美しい農村景観の維持、管理	5	4	3	2	1	C
Ū	農作物等を守るために必要な鳥獣書対策の推進	5	4	3	2	1	(
28	森林が健全に保全され、森林資源が有効活用	5	4	3	2	1	С
28	「水の郷 旭」にふさわしい川を活用した取組	5	4	3	2	1	С

		Ĭ
N.		
2 旭地区の施設やイベン	トの参加(利用)状況	について伺います
問11 下記の中から、直近5年以内 けてください	内に利用または見学したことがあ	る施設などの番号に〇印を付
	2 中部電力揚水発電所	3 貞観杉
4 小馬寺	5 風鈴寺(増福寺)	
7 お須原山	8 伊熊神社の社叢	9 時瀬大イチョウ
10 押井の陪崖仏	11 市平七色木	12 B&Gカヌー教室
13 旭地区総合体育館	14 島崎広場テニスコート	15 時瀬河川敷
16 島崎河川敷	17 笹戸河川敷	18 池島河川敷
	20 介木川 (小渡地区内)	
		24 つくラッセル
25 老人憩いの家 あさび狂		27 旭地区内での川遊び
28 旭地区内での山の散策		
間11で「29.その他」を選んだ	<b>ど方について、それは何ですか?</b>	下記にご記入ください。
回答欄		
間11の中から、皆さんにお勧	めしたいものの番号を一つ選ん	でください 回答欄
INTEG IN DI MCIOCOM		
MIIO IN STEENING	たい理由を下記にご記入くださ	U)

引12	下記の中から、直近5年以内	」に参加したことがあるものの番	号に〇印を付けてください。
	1 あさひまつり (芸能祭)	2 あさひまつり(文化作品展)	3 あさひまつり (スポーツフェスタ)
	4 つくばの里 梅まつり		6 惣田のしだれ桃
	7 小渡夢かけ風鈴	8 マイタウン・おいでん あさひ	
	(現 旭やまびこ花火大会)		12 笹ヶ温泉じねんじょ・もみじまつり
			15 コミュニティ主催スポーツ大会
	- Value 100 - 100	17 ぬくもりの里 ぬくもり祭	18 交流館事業
	19 その他		
	間12で 19.その他」を選んた	方について、それは何ですか?	下記にご記入くたさい。
	回答欄		
	2010000		
	10		
	間12の中から、皆さんにお勧。	めしたいものの番号を一つ選ん	でください。 回答欄
	LTI (MACHALI) (-MELA)	たい理由を下記にご記入ください	
			<b>,</b> 1
	ようしければ自己がにも勤めし	ACT THE PROPERTY OF	
	ようひければ 目とがにむ影のし	ACT - ELLIC   BOICE BOX 1/ACC	
	ようしければ自己がにお勤めし	ACCUPATION INDICE INDICE INDICE	
	ようしわれば 自己がにむ 勤めし	AND THE PROPERTY OF THE PROPER	
	ようひかれば 自己がにお勤めび	A TOTAL CANADA CANADA	
<b>913</b>			のの番号に〇印を付けてください。
<b>913</b>	下記の中から、直近5年以内に	で参加または見学したことがあるも	
引13	<b>下記の中から、直近5年以内</b> は 1 棒の手(地元地区)	<ul><li>参加または見学したことがあるも</li><li>2 棒の手(地元以外の地区)</li></ul>	3 打5囃子(地元)
引13	<b>下記の中から、直近5年以内</b> は 1 棒の手(地元地区)	で参加または見学したことがあるも	3 打5囃子(地元)
<b>913</b>	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打5端子(地元以外の地区)	<ul><li>参加または見学したことがあるも</li><li>2 棒の手(地元以外の地区)</li></ul>	3 打5囃子(地元) 6 その他
到13	下記の中かち、直近5年以内的 1 棒の手(地元地区) 4 打時子(地元以外の地区) 設問13で「6.その他」を選ん)	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小浪可秋の大祭)	3 打5囃子(地元) 6 その他
引13	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打5端子(地元以外の地区)	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小浪可秋の大祭)	3 打5囃子(地元) 6 その他
引13	下記の中かち、直近5年以内的 1 棒の手(地元地区) 4 打時子(地元以外の地区) 設問13で「6.その他」を選ん)	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小浪可秋の大祭)	3 打5囃子(地元) 6 その他
周13	下記の中かち、直近5年以内的 1 棒の手(地元地区) 4 打時子(地元以外の地区) 設問13で「6.その他」を選ん)	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小浪可秋の大祭)	3 打5囃子(地元) 6 その他
問13	下記の中から、直近5年以内((1) 棒の手(地元地区) 4 打5場子 (地元地区) 3 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小塚町秋の大祭) だ方について、それは何ですか?	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
問13	下記の中から、直近5年以内((1) 棒の手(地元地区) 4 打5場子 (地元地区) 3 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小浪可秋の大祭)	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
<b>\$13</b>	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打つ場子 (地元地外の地区) 設即13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧い	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
周13	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打つ場子 (地元地外の地区) 設即13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧い	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お囃子(小塚町秋の大祭) だ方について、それは何ですか?	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
到13	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打つ場子 (地元地外の地区) 設即13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧い	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
到13	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打つ場子 (地元地外の地区) 設即13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧い	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
到13	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打つ場子 (地元地外の地区) 設即13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧い	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お柳子(小塚町秋の大祭) た方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん。 たい理由を下記にご記入ください	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	を加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お柳子(小塚町秋の大祭) た方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん。 たい理由を下記にご記入ください	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お柳子(小塚町秋の大祭) た方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん。 たい理由を下記にご記入ください	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お柳子(小塚町秋の大祭) た方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん。 たい理由を下記にご記入ください	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お柳子(小塚町秋の大祭) た方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選ん。 たい理由を下記にご記入ください	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地外の地区) 設問13で「6.その他」を選んが 回答欄 問13の中から、皆さんにお勧めし	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選んが たい理由を下記にご記入ください がくりについてご意見・提案をお聞	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。
	下記の中から、直近5年以内に 1 棒の手(地元地区) 4 打ち場子(地元地区) 3 関13で「6.その他」を選んが 回答機  関13の中から、皆さんにお勧めし よろしければ皆さんにお勧めし 自由記載機(旭地区のまちご	で参加または見学したことがあるも 2 棒の手(地元以外の地区) 5 お獅子(小塚町杉の大祭) と方について、それは何ですか? めしたいものの番号を一つ選んが たい理由を下記にご記入ください がくりについてご意見・提案をお聞	3 打ち囃子(地元) 6 その他 下記にご記入ください。 でください 回答欄

## 計画策定の経緯

## (1) 策定の主な経過

◇旭地域会議 第1次	?計画の振り返り及び総括の実施	2019年	5~7月			
◇旭地域会議 第2次	?計画の策定方針・基本理念・方向性の検討	2019年	8月~			
◇旭中学校地域会議の	2019年	7月~				
(2019年度4回	2020 年度 4 回 計 8 回開催)					
◇「旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査」実施 2019 年 10~13						
◇自治区意見交換会の	実施(各自治区1回)	2019年1	.0~11月			
◇個別インタビューの	実施(5組7名)	2019年1	.0~11月			
◇第1次計画の振り返	り及びアンケート結果の共有(あさひげんき通信)	2019年	12月			
◇「第2次計画で目指す旭地区のミライのイメージ」について意見募集 2020年 1月						
(あさひげんき通信)						
◇旭地域会議専門部会	:「持続可能なまちづくり協議会」設置	2020年	1月~			
(2019年度2回 2	2020 年度 2 回 計 2 回開催 ※書面開催含む)					
◇第2次まちづくり計	十画の骨子作成	2020年	8月			
◇旭地域会議 第2次	計画の基本構想及び前期5か年計画の内容検討	2020年8	月~12月			
◇計画素案の公表と意	見募集(あさひげんき通信)	2021年	1月			
◇第2次旭地区まちつ	びくり計画(基本構想・前期5か年計画)の決定	2021年	3月			

## ①旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査

第2次まちづくり計画の策定に向けて、今後の旭地域のまちづくりに向けた課題、現状を把握するためにアンケート調査を実施。

調査対象: 旭地域に住む 15歳 (2019年4月1日現在)以上 (義務教育を終えた方) の全

員 2,447 人及び旭中学校の全校生徒 39 人の合計 2,486 人

実施期間:2019年10月8日(火)~11月18日(月) 回収結果:有効回答数 1,542人 有効回収率 62.0%

## ②自治区意見交換会(各自治区1回)

第1次計画の振り返り及び地域住民が考える課題と将来像について意見交換会を実施。

対象:自治区長、自治区役員、町内会会長、各部会の部長など、自治区の地域会議委員 実施時期:2019年10~11月

### ③個別インタビュー

第 2 次まちづくり計画策定に向けて、アンケート等では把握が難しい個別、具体な課題把握のために個別インタビューを実施。

対象: テーマ型の活動に取り組む5組7名

実施時期: 2019年10~11月

# (2) 策定委員

## ①地域会議委員

第7期〔2018年度・2019年度〕

50 音順 (	)内は自治区名
---------	---------

浅野 陽介	〉 (敷島)	安藤	国夫	(笹戸)	安藤	誉志夫	(敷島)
池野 晴太	僅戸)	○伊藤	浩二	(小渡)	稲垣	辰郎	(浅野)
後藤康仁	(笹戸)	後藤	祐二	(築羽)	後藤	由紀子	(敷島)
近藤 計二	(笹戸)	坂本	竜児	(小渡)	田村	重幸	(小渡)
富永麻花	云 (築羽)	古田	秀勝	(浅野)	松井	範一	(小渡)
松井 豊	(築羽)	三浦	幸博	(敷島)	◎三島	利彦	(浅野)

## 第8期〔2020年度・2021年度〕

50 音順 ( )内は自治区名

秋野	茂	(小渡)	○浅野	陽介	(敷島)	安藤	錬三	(浅野)
宇井	幹尚	(笹戸)	梶	昌樹	(築羽)	後藤	康仁	(笹戸)
後藤	祐二	(築羽)	後藤	洋介	(小渡)	近藤	計二	(笹戸)
鈴木	俊治	(敷島)	髙山	治朗	(敷島)	富永	麻衣子	(築羽)
成瀬	裕	(浅野)	林	義治	(敷島)	◎古田	秀勝	(浅野)
籔下	隆	(小渡)						

## ②持続可能なまちづくり協議会メンバー

( )内は職名

三島 利彦(第7期旭地域会議会長)		
松井 恒雄 (2019 年度旭地区区長会会長)	三島 利彦(第7期旭地域会議会長)	伊藤 浩二 (第7期旭地域会議副会長)
谷口 功 (椙山女学園大学教授)  早川 富博	古田 秀勝(第8期旭地域会議会長)	浅野 陽介(第8期旭地域会議副会長)
早川 富博	松井 恒雄(2019年度旭地区区長会会長)	近藤 常隆(2020年度旭地区区長会会長)
(㈱三河の山里コミュニティパワー代表取締役) (おいでん・さんそんセンタースタッフ) 後藤 孝章 (旭地区定住連絡会会長) 渡邉 さとみ(すぎん工房代表) 神谷 洋美(豊田市社会福祉協議会旭支所長) 成本 隆 (豊田市消防団第9方面隊長) 松井 正勝	谷口 功 (椙山女学園大学教授)	
後藤 孝章 (旭地区定住連絡会会長) 渡邉 さとみ(すぎん工房代表) 神谷 洋美(豊田市社会福祉協議会旭支所長) 成本 隆 (豊田市消防団第9方面隊長) 松井 正勝 小池 政春 (旭地区民生委員・児童委員協議会会長) (旭中学校プロックPTA連絡協議会会長) 鈴木 正晴 板倉 小夜子 (地域学校共働本部「学びあい本部」コーディネーター) 三宅 貞夫 (旭地区高齢者クラブ連合会会長) 田村 重幸 (旭商工会事務局長) 会木 孝子 (旭観光協会事務局長) 大内 茂樹 (㈱旭高原代表取締役社長) 戸田 友介 (トヨタ生活協同組合経営企画部事業推進室長) 高山 治朗 (旭木の駅プロジェクト実行委員長) 鈴木 辰吉 ((一社)押井営農組合代表理事)	早川富博	木浦 幸加
神谷 洋美 (豊田市社会福祉協議会旭支所長) 成本 隆 (豊田市消防団第9方面隊長) 松井 正勝	(㈱三河の山里コミュニティパワー代表取締役)	(おいでん・さんそんセンタースタッフ)
松井 正勝	後藤 孝章(旭地区定住連絡会会長)	渡邉 さとみ(すぎん工房代表)
(旭地区民生委員・児童委員協議会会長) (旭中学校ブロックPTA連絡協議会会長) 鈴木 正晴	神谷 洋美(豊田市社会福祉協議会旭支所長)	成本 隆 (豊田市消防団第9方面隊長)
お木 正晴	松井 正勝	小池 政春
(地域学校共働本部「学びあい本部」コーディネーター)     三宅 貞夫 (旭地区高齢者クラブ連合会会長) 田村 重幸 (旭商工会事務局長)     鈴木 孝子 (旭観光協会事務局長) 大内 茂樹 (㈱旭高原代表取締役社長)     戸田 友介	(旭地区民生委員・児童委員協議会会長)	(旭中学校ブロックPTA連絡協議会会長)
三宅 貞夫 (旭地区高齢者クラブ連合会会長)       田村 重幸 (旭商工会事務局長)         鈴木 孝子 (旭観光協会事務局長)       大内 茂樹 (㈱旭高原代表取締役社長)         戸田 友介       竹村 恭一         (つくラッセル事業推進コンソーシアム代表)       (トヨタ生活協同組合経営企画部事業推進室長)         髙山 治朗 (旭木の駅プロジェクト実行委員長)       鈴木 辰吉 ((一社) 押井営農組合代表理事)	鈴木 正晴	板倉 小夜子
お木 孝子 (旭観光協会事務局長) 大内 茂樹 (㈱旭高原代表取締役社長)     戸田 友介	(地域学校共働本部「学びあい本部」コーディネーター)	(地域学校共働本部「学びあい本部」コーディネーター)
戸田 友介         竹村 恭一           (つくラッセル事業推進コンソーシアム代表)         (トヨタ生活協同組合経営企画部事業推進室長)           髙山 治朗(旭木の駅プロジェクト実行委員長)         鈴木 辰吉((一社)押井営農組合代表理事)	三宅 貞夫(旭地区高齢者クラブ連合会会長)	田村 重幸(旭商工会事務局長)
(つくラッセル事業推進コンソーシアム代表) (トヨタ生活協同組合経営企画部事業推進室長) 高山 治朗(旭木の駅プロジェクト実行委員長) 鈴木 辰吉((一社)押井営農組合代表理事)	鈴木 孝子(旭観光協会事務局長)	大内 茂樹(㈱旭高原代表取締役社長)
高山 治朗 (旭木の駅プロジェクト実行委員長) 鈴木 辰吉 ((一社) 押井営農組合代表理事)	戸田 友介	竹村 恭一
	(つくラッセル事業推進コンソーシアム代表)	(トヨタ生活協同組合経営企画部事業推進室長)
梅村 隆志(旭交流館長)※オブザーバー 川原 満代(豊田市地域保健課)※オブザーバー	髙山 治朗(旭木の駅プロジェクト実行委員長)	鈴木 辰吉((一社)押井営農組合代表理事)
	梅村 隆志(旭交流館長)※オブザーバー	川原 満代(豊田市地域保健課)※オブザーバー



# 第2次旭地区まちづくり計画 〔2021~2030〕

# 基本構想 5か年計画2021~2025

発行 旭 地 域 会 議 編 集 豊田市役所旭支所 豊田市小渡町船戸15-1 TEL 68-2211 FAX 68-3476 asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

2021年3月